

モーニングセミナー

モーニングセミナー M2-2

7月4日(木) 8:00-8:45 第2会場

ECHA (Europe Chemical Agencyによる拡張一代生殖毒性試験 (EOGRTS - OECD Test Guideline No. 443) の試験デザインレビュープロジェクト、新たな提言と内分泌かく乱物質評価の将来的展望について

講師：スティーブ・リノート（発達毒性、生殖毒性（DART）部門責任者）
座長：田島 和志（Sales Director, Crop Protection & Chemicals, Labcorp）
共催：ラボコープラボラトリーズジャパン合同会社

概要

EOGRTS の試験デザイン、実施、分析、報告の観点から同試験を評価し、その結果が EU 規制におけるハザード評価にどのように影響したかを検討するための ECHA レビュープロジェクトの概要を説明する。また Labcorp は、ECHA の重要勧告、レビュープロジェクトの最終報告書、その後の業界ワークショップを通じて、これらの規制上のマイルストーンが試験デザインにどのような影響を与えたかを説明する。さらに、2 つ目のトピックとして、欧州における内分泌かく乱物質評価の概要について、さまざまな内分泌モダリティを取り上げ、エビデンスの重み付け評価がどのように行われ、分類や表示にどのような影響を及ぼすかを解説する。

モーニングセミナー M2-4

7月4日(木) 8:00-8:45 第4会場

Regulatory Considerations for Nonclinical Safety Evaluation of New Drugs

講師：Dr. Yongbin (Robert) Zhang（Chief Technology Officer & VP, JOINN Laboratories）
座長：Zheng Yao
共催：JOINN Laboratories

概要

1. FDA regulation tips and considerations of new drugs
2. Nonclinical safety considerations of new drugs
3. Case study

Application of Image Analysis and Artificial Intelligence in the Histology of Pharmaceutical, Chemical and Medical Device Studies

講師：Dr. Nils Warfving (AnaPath Services GmbH)

座長：Yoshimasa Okazaki (AnaPath Services GmbH)

共催：AnaPath Services GmbH

概要

The history of analyzing images of histological slides is old, but with the rapid technological development of imaging systems, computing power, and artificial intelligence the applications have become more widespread, and the potential is still growing. In this seminar, I will highlight numerous examples of classical image analysis and image analysis using more novel approaches of machine learning and artificial intelligence, using an illustrative approach, in for both regulatory and exploratory studies in the fields of pharmaceuticals, chemicals and medical devices.

CELL HANDLER™を用いたヒトiPS細胞クローンのゲノム編集結果プロファイリング

講師：宮岡 佑一郎（東京都医学総合研究所、再生医療プロジェクト）

座長：内海 芳宣（ヤマハ発動機株式会社 新事業開発本部 MDB 部 市場開発グループ）

共催：ヤマハ発動機株式会社

概要

個々の細胞中のゲノム編集結果を把握することは、その応用に必要不可欠となりうる。そこで我々は、2,600 個以上のゲノム編集されたヒト培養細胞クローンを単離・解析した (Takahashi, iScience 25:105619 2022)。しかし、ヒト iPS 細胞は死にやすく、同様の手法ではクローンを得ることができなかった。そこで我々は、CELL HANDLER™ を用いてゲノム編集 iPS 細胞クローンを効率的に樹立する手法を開発し、1,000 個以上の iPS 細胞クローンのゲノム編集結果解析に成功した。その結果、個々の iPS 細胞の中では、同一の編集が起こりやすいことを見出した。

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー L1-1

7月3日(水) 12:00-13:00 第1会場

発熱性物質試験の現状と諸問題

講師：靑島 由二 (三浦工業株式会社メディカル機器事業推進統括部 / メディカル横浜ラボ)

座長：宮崎 和雄 (マイキャン・テクノロジー株式会社 代表取締役 CEO)

共催：マイキャン・テクノロジー株式会社

概要

発熱性物質の医療製品への混入については厳格な品質管理が求められている。発熱原性を評価する手法としては、ウサギ発熱試験、エンドトキシン試験及び HCPT を利用することができる。しかし、各試験法の反応機構、利点と欠点はそれぞれ異なるため、医療機器の発熱性物質試験法に関する国際文書「ISO/TR 21582:2021」では、試験目的に応じて適切な方法を選択することが推奨されている。また、発熱性物質の評価は試験検体の特性を理解した上で行う必要もある。

本講演では、発熱性物質の分類、各試験法の特徴のほか、LER 現象や回収率に関する現行の発熱性物質試験を巡る諸問題やその解決法等について概説する。

Sponsor 企画

ランチョンセミナー L1-2

7月3日(水) 12:00-13:00 第2会場

①危険ドラッグの依存性および有害作用評価とその規制の最新線

講師：船田 正彦 (湘南医療大学 薬学部 教授)

②日米欧の薬物依存性試験ガイドランスの比較

講師：飯野 雅彦 (株式会社イナリサーチ 試験管理統括部)

座長：林田 健一郎 (株式会社新日本科学 非臨床カンパニー 安全性研究所 薬効薬理研究部 次長)

共催：株式会社新日本科学

概要

①危険ドラッグ(新規精神活性物質)乱用による健康被害の発生が社会問題となっている。危険ドラッグ規制のためには、その依存性や毒性の迅速な評価が重要となる。また、類似の化学構造を有する危険ドラッグを一括で規制する包括的指定が有効となる。薬物の依存性評価方法としてマウスを使用した conditioned place preference method と drug discrimination method について、同様に、毒性評価として培養細胞を利用した評価システムを紹介する。また、本セミナーでは、危険ドラッグの依存性評価と毒性評価の現状と、包括指定のプロセスについて解説する。

②安全性薬理試験ガイドライン(2001年)ではフォローアップ試験のその他の器官系の項で「依存性」の検討が推奨されており、ICH-M3(R2)ガイドランス(2010年)では中枢神経系に対し活性がある薬物に関して適応症によらず薬物乱用性の評価の必要性について検討されるべきとしている。日米欧の三極では、それぞれで薬物乱用に関する非臨床ガイドランスが存在しており、各極はそれぞれのガイドランスを参照して薬物の依存性/乱用能の評価を行っている。そこで、本セミナーでは、三極の薬物依存性試験ガイドランスにおけるそれぞれの特徴を比較しながら解説する。

アニマルモデルからの脱却：オルガノイドとMPSを用いた次世代In vitroモデルの最前線

講師：中沢 太郎 (モレキュラーデバイスジャパン株式会社)

江尻 洋子 (Mimetas Japan 株式会社)

座長：宇田川 紘司 (モレキュラーデバイスジャパン株式会社)

共催：モレキュラーデバイスジャパン株式会社 / ミメタスジャパン株式会社

概要

動物実験に代わる毒性評価モデルとして、Organ-on-ChipやオルガノイドといったMPS (Microphysiological Systems) が注目されています。これらの技術は、生体内環境を再現し、人間の生理学的応答を模倣することが可能です。MIMETAS社は、10年に渡り世界の大手製薬企業と多くのコラボレーションを行ってきたOrgan-on-Chipの分野のリーディングカンパニーです。モレキュラーデバイス社は、データを元に継代のタイミングを自動的に判断できるAIシステムを活用する画期的なオルガノイド培養自動化に取り組んでいます。本講演では、MPSを活用した最新の研究成果や技術革新について紹介します。

Sense and Nonsense of Bone Marrow Differentiation in Toxicology Studies

講師：Dr. Klaus Weber (AnaPath Services GmbH)

Dr. Kristel Kegler (AnaPath Services GmbH)

座長：Yoshimasa Okazaki (AnaPath Services GmbH)

共催：AnaPath Services GmbH

概要

Introduction: Bone marrow evaluation is a standard component of the toxicological investigation of routine studies. It involves mainly the routine evaluation of bone marrow sections. Bone marrow differentiation (BMD) is not specifically requested by the guidelines. It can, however, be a powerful tool in understanding mechanisms of pathogenesis and/or pharmacological actions.

Experimental Design: The evaluation of bone marrow (BM) sections and the sample preparation of smears are included in the standard protocols of every regulatory study. Evaluation of bone marrow smears is not mandatory, but if performed, there are different ways of evaluation including BMD.

Methods: Standard for BMD is the evaluation of smears stained by a May-Grünwald technique. The number of cells differentiated per smear impacts repeatedly the outcome of the results (i.e., 200 differentiated cells may cause a 50% variation when a BMD is repeated; whereas, 500 differentiated cells causes a 10% variation when a BMD is repeated). Species, age and sex-related differences might play a role and need to be known before conducting the BMD (i.e. control data are helpful in the interpretation of results).

Results: Age-related changes in adult animals are unusual, however, during pregnancy and lactation, females show different BMD values compared to other females of the same age. Side effects caused by the route of application need to be considered (e.g. inflammatory lesions due to emboli induced by liposomes). In studies performed with compounds that are previously known to affect BM (e.g., corticosteroids, platinum compounds, Doxorubicin), BMD could serve for the setting of thresholds for the applied doses. Similarly, in studies with colony stimulating factors (e.g., EPO, G-CSF), BMD can demonstrate dose-dependent pharmacological effects and can also explain adverse side effects at higher doses. For several compounds, BMD can reveal

unique findings involved in the pathogenesis of adverse side effects (e.g., PPAR agonists, alpha-methylase inhibitors, lipopolysaccharide, propofol).

Conclusion: Generally, the entire spectrum of lesions recorded in the dose group of interest needs to be considered together with the BMD results. Every inflammatory or degenerative change, test item induced or technically related to study procedures, may affect the results. Further, lesions and measured values of the hematology profile requires consideration. BMD is expensive and time-consuming and should be well justified before being initiated.

Impact Statement: The isolated diagnostic on either bone marrow sections or bone marrow smears may cause misinterpretation or even misdiagnosis. BMD may be an interesting tool for threshold effects, and, for some compounds, it might explain the pathogenesis of side effects.

ランチョンセミナー L1-5

7月3日(水) 12:00-13:00 第5会場

Use of virtual control groups in nonclinical developmental, reproductive, and juvenile toxicity studies: are we ready yet?

講師: Elise M. Lewis, Ph.D. (Principal Director, Toxicology, Charles River)

座長: 小田切 慧 (DSA SCIENTIFIC 合同会社)

共催: Charles River

概要

As nonclinical scientist, we have a responsibility not only to align with the 3Rs in animal-based research, but we must exercise responsible use of animals in our research practices. Virtual control groups have emerged as a tool with the promise of reducing animal use by replacing control group animals with virtual counterparts in nonclinical studies, where feasible. For developmental, reproductive, and juvenile toxicology, the conversation starts today. How do we advance as a community towards 21st century thinking and reduce, eliminate, or consider alternative approaches to facilitate data comparisons and interpretation through other means such as historical control data warehouses?

Sponsor 企画

ランチョンセミナー L1-6

7月3日(水) 12:00-13:00 第6会場

自然言語処理AIの安全性評価への適用可能性を探る

講師: 宮本 実 (株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 研究チーム 部長)

座長: 豊柴 博義 (株式会社 FRONTEO 執行役員 CTO)

共催: 株式会社 FRONTEO

概要

自然言語処理は、人が日常的に使う言語をコンピュータが処理する技術です。FRONTEO は独自のアルゴリズムを実装した自然言語処理 AI「KIBIT」を、新規性の高い標的探索、Drug Repositioning、バイオマーカー探索およびそれらの裏付けとなる仮説生成に活用します。また、毒性分野においても標的探索等と同様に自然言語処理技術を活用することで、臨床での安全性予測やその理解に役立つと考えます。しかしながら、現状、安全性予測 / 評価における、自然言語処理技術の活用が進んでいないため、本セミナーでは薬剤の安全性評価にフォーカスし、安全性評価プロセスにおける KIBIT 活用の効果を探ります。

鳥類および水生生物の毒性学試験の最適な方法と課題

講師：Suzanne Z. Schneider (副部長 水生生物毒性部, ユーロフィン EAG アグロサイエンス Easton 研究所)
Patrick Hubbard (主任研究者 鳥類毒性部, ユーロフィン EAG アグロサイエンス Easton 研究所)

座長：古川 賢 (日産化学株式会社)

共催：ユーロフィン EAG アグロサイエンス

概要

本セミナーではユーロフィン Easton 研究所にて実施している、以下の試験について解説する。

1. 鳥類毒性試験：鳥類の代謝および残留分析を含めた試験の概要とその課題について解説する。
2. 内分泌かく乱物質スクリーニングプログラム
 - i. Tier 1 スクリーニング：最適な方法について解説する。
 - ii. Tier 2 テスト（メダカ拡張 1 世代繁殖試験および幼生期両生類成長発達試験）の概要とその課題について解説する。
3. パネルディスカッションでは登録申請のための試験に影響を与える可能性のある新技術や規制の最新情報について議論する。

ランチョンセミナー L2-2

7月4日(木) 12:00-13:00 第2会場

① マルチオーガン型 MPS “HUMIMIC” を用いた生体環境の再現

講師：武田 日出夫 (フィジオマキナ株式会社 応用技術研究所 CTO)

座長：今井 知紘 (フィジオマキナ株式会社 セールスマーケティング室)

② HUMIMIC Chip を使用した 3D 生体組織の共焦点イメージング

講師：高崎 哲臣 (株式会社ニコンソリューションズ 創業研究支援部 研究支援課)

座長：宮本 健司 (株式会社ニコンソリューションズ 創業研究支援部)

共催：フィジオマキナ株式会社 / 株式会社ニコンソリューションズ

概要

①「MPS を用いて生体内での環境を再現したい」という研究者様と話をすると、その目的が実に様々であることに気づきます。本セミナーではなぜ MPS が注目されるのか、MPS では何ができるのか、世界的な動向と事例について、TissUse 社のマルチオーガン型 MPS “HUMIMIC” を例に概要を紹介します。

②本講演では弊社の共焦点顕微鏡 AX を用いた TissUse 社製の臓器チップ HUMIMIC Chip の観察事例を紹介します。HUMIMIC Chip は複数のオルガノイドを共培養することができる特徴を有しています。今回の事例は腸と骨髄の 3D 培養サンプルの撮影事例です。腸モデルからはタイトジャンクションマーカの ZO-1 を観察して細胞の極性を確認することができ、骨髄モデルの共焦点画像からは F-アクチンを発現する細長い MSCs と円形状の HSCs が全体に生育していることが分かりました。また、組織特有の三次元形態およびマーカーの局在を確認することができました。骨髄モデルは抗がん剤の長期投与時の毒性評価への利用が期待でき、動物代替手段のひとつとして、創業研究への貢献が期待されています。

ICH S5(R3)ガイドラインに準拠した新規代替法 (NAM) としてゼブラフィッシュを用いる発生・催奇形性試験の適格性評価

講師：Arantza Muriana (Co-founder, R&D Director, and CEO of USA, BBD BioPhenix S.L.U (Biobide))

座長：下村 和裕 (第一三共株式会社 ワクチン研究所)

共催：BioBide (BBD BIOPHENIX S.L.U.) / 株式会社安評センター

概要

ICH S5 (R3) Guideline on detection of reproductive and developmental toxicity for human pharmaceuticals (医薬品の生殖発生毒性評価に係るガイドライン) は、2020 年の見直しにおいて、実験動物の使用を最小限に抑えるための戦略の一環として、新規代替法 (NAM) の使用を提案している。ガイドラインでは、特定の形態異常または胚・胎児致死性を誘発することが確認されている 29 種の陽性化合物と、代替法の適格性を裏付けるために使用される 3 種の陰性化合物を含むリストを提示している。

本研究では、ゼブラフィッシュを用いた発生毒性試験の予測性に着目した。ゼブラフィッシュ胚モデルは、生物としての複雑性を持ちながら、倫理的に許容される小規模な試験系であることから毒性学において高い評価を得ている。このモデルは、発達過程を継続的にモニタリングすることが可能であり、哺乳類の発達障害に関する適切な知見を得るために幅広く用いられている。本研究の目的は、ICH S5(R3) ガイドラインに提示された 32 化合物を試験することにより、ゼブラフィッシュ胚モデルが規制当局に受け入れられるよう検証することである。これらの医薬品の催奇形性リスクを評価するため、2つの異なるステージで形態学的変化の有無を分析し、各ステージの LC50 値と EC50 値の比を催奇形性指数と設定した。

ゼブラフィッシュの発生毒性試験で 32 化合物のスクリーニングを実施したところ、参照化合物 29 種のうち 23 種がゼブラフィッシュで催奇形性を示した。当初、偽陰性を示した 6 種は、試験条件下のゼブラフィッシュ胚に対しては、4 種は判定不可、1 種は毒性なしに分類され、1 種には毒性が認められた。

催奇形性試験後に実施した生物学的利用能分析により、結論の出なかった複数化合物を適切に分類することができ、げっ歯類やウサギと比較して、試験の精度は 89.66%、感度は 88.46%、特異性と再現性は 100% に向上した。したがって、ゼブラフィッシュを用いた試験法は発生毒性試験における動物の使用を最小限に抑えるための新規代替法として十分に活用できる手法であることが明らかとなった。

ケーススタディー：KI (Knock-In) 動物を用いたINDのための毒性試験及びFDA/CBERに関する最近の話題について

講師：福井 英夫 (Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社 Science Strategy & Planning)

座長：山田 久陽 (メディフォード株式会社 戦略企画部門 / 東京理科大学薬学部)

共催：Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社 / メディフォード株式会社

概要

ニューモダリティー医薬品及び低分子医薬品の非臨床安全性試験で、on target 及び off target 毒性を評価することが規制当局から求められている。特に、ニューモダリティー医薬品では非臨床試験の動物種としてサルが選択されることが多い。しかし、サルの価格高騰及び輸入制限により、非臨床試験が実施困難な状況であり、国内外で多くのプロジェクトの進捗に影響が出ているようである。最近、KI 動物を用いた毒性試験に切り替えた成功事例が公開され始めている。その事例と FDA/CBER に関する最近の話題について紹介したい。

Early de-risking and prediction of human safety in drug discovery

講師：Paul Walker Ph.D. (VP Head of Toxicology and Innovation Efficiency)

座長：Masaaki Yatsu (Authorized Agent, Cyprotex Discovery Limited)

共催：Cyprotex Discovery Limited

概要

We present *in vitro* approaches and associated safety cascades to de-risk small chemical entities (NCEs) in early drug discovery. Using *in vitro* models of human relevance such as human liver microtissues (hLiMTs) and cardiac tri-culture organoids. Human safety prediction is determined with combining these *in vitro* models with 3D high content imaging (HCI) and full genome transcriptomics (Tx). AI/ML models are utilised to determine a human safety risk profile.

医薬品安全性におけるデータ主導型意思決定を実現するためのAIによる高度な分析ツールの開発

—PharmaPendiumに収録の非構造化、構造化した安全性情報での一例—

講師：トーマ・ヴァーグ (エルゼビア)

座長：大山 崇広 (エルゼビア・ジャパン)

共催：エルゼビア・ジャパン株式会社

概要

製薬業界によってもたらされる安全性データは様々な情報源—臨床試験、市販後調査、承認審査データ等—から得られる。しかし、これらのほとんどが非構造化データで、自社開発薬の安全性検討の意思決定等に役立てるには困難な分析を強いられている。本セミナーではAIによる高度な分析方法をPharmaPendiumに収録の非構造化、構造化した安全性データに応用した事例を紹介する。自然言語処理、検索拡張生成技術を用いて、非構造化データである承認審査文書から安全性関連の情報を分析し、安全性モニタリングとコンプライアンスの向上に活かせるか検討する。さらに、PharmaPendiumに収録された有害事象、薬物動態データといった構造化されたデータを、高度な分析と可視化によって開発戦略と安全性試験計画の向上に活かす方法を考察する。

1. がん原性評価の新しいアプローチ—Weight of Evidence評価のための早期創薬段階でのデータ蓄積

講師：Chun-Yao Lee, Ph.D. (ユーロフィンディスカバリー台湾)

2. BioMAP®トランスレーショナルバイオロジープラットフォームによる薬物毒性予測の向上—毒性に起因する開発中止や市場撤退の軽減を目指して

講師：Alastair J. King, Ph.D. (ユーロフィンディスカバリー)

座長：今立 真 (ユーロフィンディスカバリー日本事業部)

共催：ユーロフィンディスカバリー

概要

1. ICH S1B (R1) ガイダンスでは、医薬品のヒト発がんリスク評価プロセスを拡張するために、さまざまな情報(生物学的、薬理的、毒性学的情報)を包括的に評価する Weight of Evidence (WoE) アプローチが導入されています。発がん反応は、化学物質への曝露による炎症、免疫調節、細胞損傷等を介して引き起こされます。ユーロフィンディスカバリーでは、非遺伝毒性の発がん物質を同定するため、発がんメカニズムに関与する 30 の主要分子標的を統合したスクリーニングパネルを構築しました。さらに、客観性を向上させるために AI ベースの画像解析モジュールを組み込んだ、発がん物質誘発性の悪性形質を評価するための細胞形質転換アッセイを開発しました。動物試験の代替としてこれらの in vitro アッセイは、発がんリスクを理解し、軽減するための重要なツールです。

2. 多くの in vitro 安全性および毒性アッセイが実施されているにもかかわらず、臨床における予期せぬ毒性による開発中止率は依然として高いことが知られています。しかし、これらのアッセイは、そのような有害事象をより確実に予測できるほど、人体の複雑なバイオロジーを十分にモデル化していません。本講演では、トランスレーショナルで臨床的に関連する in vitro プラットフォームにおいて潜在的な毒性指標を同定するため、複雑な細胞培養モデルとデータ解析の使用について説明します。承認薬と中止薬のケーススタディを紹介し、予期せぬ毒性の発生を減らすことが、どのように開発中止や市場撤退の軽減に寄与するかを論じます。

心血管系安全性評価における新しい安全域導出法について —最新ICH S7B Q&As Stage 1対応からStage 2および抗がん剤評価への展開—

講師：杉山 篤 (東邦大学医学部薬理学・山梨臨床薬理研究所)

松川 浩 (メディフォード株式会社, 鹿島研究所)

座長：内田 秀臣 (メディフォード株式会社, 鹿島研究所)

共催：メディフォード株式会社

概要

医薬品開発において薬剤誘発性心毒性は主な懸念事項であり、適正な心血管系安全性評価を行うために信頼性の高いデータが求められる。近年、生命維持に重要な心血管系における薬物の有害作用評価に関する ICH S7B ガイドライン Q&As が新規作成され、臨床と非臨床の統合的リスク評価のためのベストプラクティス が示される等、心血管系評価の実施内容が大きく様変わりした。セミナー前半で、最新 ICH S7B Q&As Stage 1 対応から Stage 2 および抗がん剤評価への展開を解説し、後半では in vitro 評価の中心的存在である hERG 試験に照準を当て、弊社の取り組みを紹介する。基準薬を用いたデータ取得・解析方法に加えて、大きな関心を集めている QTc 延長 10 ms に相当する hERG Safety Margin (安全域) 及び Pooled Safety Margin の導出方法について詳細にお伝えする。

①MPSの社会実装するために必要な基準ヒト肝細胞について

講師：石田 誠一（崇城大学大学院 工学研究科 応用生命科学専攻）

②化合物最適化段階におけるPXB-cellsを用いた肝毒性回避戦略

講師：湯川 智也（武田薬品工業株式会社 リサーチ 薬剤安全性研究所）

司会：松見 達也（株式会社フェニックスバイオ）

共催：株式会社フェニックスバイオ

概要

ヒト肝細胞キメラマウスから採取した新鮮肝細胞（PXB-cells）を用いた肝毒性評価の実施例について、崇城大学・石田誠一先生と武田薬品工業株式会社・湯川智也先生よりご紹介をいたします。

CROとの共創：バイオ3Dプリンティング技術がもたらす再生医療・創薬研究の展望と現在地

講師：秋枝 静香（株式会社サイフューズ 代表取締役）

座長：狩野 真由美（株式会社日本バイオリサーチセンター 営業企画部）

共催：株式会社日本バイオリサーチセンター

概要

近年、バイオ 3D プリンタ及びバイオ 3D プリンティング技術を用いた再生医療及び創薬研究が加速している。再生医療分野においては、3D 組織を用いた移植医療、創薬分野においては、薬物の体内動態や薬効評価ツールとしての活用が加速しており、また動物実験代替法としての需要も増えてきている。

サイフューズは開発したバイオ 3D プリンタを用いて、細胞だけで立体的な組織・臓器をつくり、神経や骨軟骨、血管再生等の臨床試験を実施。創薬向けには、ヒト 3D ミニ肝臓の販売を開始し、実用化に向けた開発を加速している。

基礎研究～臨床開発～実用化に向けた、当社のパートナーシップ戦略及び両社の強みを活かした NBR との製品開発についてご紹介したい。

***Mycobacterium caprae* infection in imported laboratory Cynomolgus macaques (*Macaca fascicularis*): what have we learned from diagnosis and management from an outbreak caused by an emerging mycobacterial species?**

講師：Dr. Kristel Kegler (AnaPath Services GmbH)

Dr. Klaus Weber (AnaPath Services GmbH)

座長：Yoshimasa Okazaki (AnaPath Services GmbH)

共催：AnaPath Services GmbH

概要

Emerging mycobacterial species causing tuberculosis (TB) are a major challenge for diagnosis and surveillance. Here we present a natural outbreak caused by *Mycobacterium caprae* in imported cynomolgus macaques (*Macaca fascicularis*) occurring at AnaPath Research S.A.U. (APR). Despite repetitive Intradermal Tuberculin Test (IDT) at the breeding farm and European quarantine station, 10 out of 114 animals had gross and histologic findings compatible with TB confirmed by PCR and culture, and 4 animals had early infection diagnosed only by histopathology. Affected were three regulatory toxicity studies and stock animals, and one worker had positive IDT reaction. *M. caprae* spoligotype SB1622 was identified tracing the infection to Asia. Diagnostic approaches used at APR including IDT, Interferon- γ release assay, and ultrasound were sensitive in detecting chronic-active cases but failed to identify early infection. Histologically, *M. caprae* induces a distinctive type of granuloma characterized by lack of capsule with high rate of rupturing into airways, and presence of a specific population of spindle cells forming glomeruloid-like structures at the periphery of the granuloma. Metagenomics used to identify possible co-infection with bacteria or viruses aiming to explain these characteristic features failed to demonstrate any concomitant microorganism. Hence, solely infection with *M. caprae* elicits a distinctive type of granuloma with high transmission potential. Nonetheless, all sanitary measures implemented were effective in eradicating the disease at the facility.

Addressing Unmet Needs for Reproductive, Developmental, and Juvenile Toxicology Testing using Advanced Therapies and Technologies

講師：Elise M. Lewis, Ph.D. (Principal Director, Toxicology, Charles River)

座長：南 宏幸 (DSA SCIENTIFIC 合同会社)

共催：Charles River

概要

The field of developmental, reproductive, and juvenile toxicology have evolved over decades to allow scientists and clinicians to address unmet needs that stem from inborne errors in development. Though the ICH guidelines pertaining to reproductive, developmental, and juvenile toxicity explicitly excludes cellular therapies, gene therapies, and tissue-engineered products from the testing guidelines, the safety of these products must be addressed in nonclinical settings to ensure efficacy and patient safety. To meet future needs we are realizing that the understanding the molecular basis of drug interactions with the developing embryo will allow us to better predict the hazard from exposure.

ランチョンセミナー L3-6

7月5日(金) 12:00-13:00 第6会場

カニクイザル非臨床試験：原産地の違いによる影響と髄腔内投与によるアンチセンス核酸の安全性評価

講師：Lars Mecklenburg, DVM, PhD, DACVP, FIATP

(Executive Director, Global Safety Assessment, Labcorp Early Development)

座長：Michiko Fukuda (Business Development Director / Early Development, Labcorp)

共催：ラボコープラボラトリーズジャパン合同会社

概要

Cynomolgus macaques are the predominant species for nonclinical safety testing of biopharmaceuticals. The recent shortage in animal supply urges to optimize their use. This presentation reviews the impact of geographical animal origin in relation to selected endpoints that are relevant in nonclinical safety testing. The presentation will also discuss intrathecal dosing in macaques as an increasingly common route of administration for antisense oligonucleotides that target central nervous system diseases. We present typical clinical observations and pathology findings in such studies and explain their relevance in preclinical safety testing.

ランチョンセミナー L3-7

7月5日(金) 12:00-13:00 第7会場

大阪大学創薬サイエンス研究支援拠点におけるAMED BINDSの生命科学・創薬研究支援とIncucyte[®]の活用

講師：辻川 和丈 (大阪大学大学院薬学研究科)

座長：下西 祥平 (ザルトリウス・ジャパン株式会社)

共催：ザルトリウス・ジャパン株式会社

概要

AMED 生命科学・創薬研究支援基盤事業 (BINDS) は、我が国の優れた生命科学研究の成果を創薬研究開発に繋げることを目的とした研究支援事業である。大阪大学薬学研究科創薬サイエンス研究支援拠点では、BINDS の採択を受け、先端機器の整備と活用、創薬標的分子の探索、化合物ライブラリーの提供とハイスループットスクリーニングの実施、化合物の構造展開や in vivo 薬物動態・安全性試験をシームレスに支援する体制を構築している。本セミナーではそれら特徴的な支援とともにスフェロイドやオルガノイドを利用した毒性評価等における Incucyte[®] の活用事例を紹介する。

Sponsor ガイド (各社一覽)

受託研究機関

AnaPath Services GmbH (APS), Switzerland / AnaPath Research S.A.U. (APR), Spain



スイスを拠点とする AnaPath Services とスペインに拠点を置く AnaPath Researchは、製薬、生物学、農業、化学品、医療機器、動物用医療の分野で皆様の研究開発を支援するサービスを提供する受託研究機関です。学術年会では、ランチョンおよびモーニング・セミナーで3つのトピックを予定しております。当社展示ブースにもぜひお立ち寄りください。

キーワード：安全性試験・PK/PD・IHC/TCR・EDX/material science・Image analysis

住所：Hammerstrasse 49, CH-4410 Liestal, Switzerland

TEL：+41 61 906 40 00 / E mail：info@anapath.ch / URL：[APS] <https://anapath.ch/>, [APR] <https://www.anapathresearch.com/>

Axcelead Drug Discovery Partners株式会社 / Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.



日本初の創薬ソリューションプロバイダー Axceleadです。2017年の創業以来、200を超える施設の創薬研究者の皆様にパートナーとしてご選択いただいております。今年も展示ブースにて新しいソリューションをご紹介しますので、是非足をお運びください！

キーワード：ノックインアニマルを用いたIND申請用試験・スピードと豊富な種類が自慢の安全性スクリーニング・核酸医薬の安全性評価

住所：251-0012 神奈川県藤沢市村岡東二丁目26番地の1

E mail：contact@axcelead.com / URL：<https://www.axcelead.com/>

BBD BioPhenix S.L.U (Biobide)



Biobide社はG L P 遵守および3 Rの原則に基づき、19年以上にわたって、ゼブラフィッシュ新代替モデル(N A M)を用いた毒性アッセイ・有効性アッセイを製薬、バイオテクノロジー、化粧品、タバコ、栄養補助食品会社等に提供し続けている受託研究機関です。

キーワード：Zebrafish・New Alternative Models (NAMs)・High Content Screening・Ecotoxicity・Toxicity

住所：Parque Científico y Tecnológico de Gipuzkoa, Mikeletegi Pasealekua 56, 20009 San Sebastián, Spain

TEL：(+34) 943 309 360 / E mail：info@biobide.es / URL：<https://biobide.com/>

Charles River



Charles Riverは、米国より幼若・生殖発生毒性専門家を迎え、初日、3日目にランチョンセミナーを共催いたします。展示ブースもごございますので、演者に直接ご質問いただけるこの機会をご利用ください。Charles Riverの安全性試験の窓口はDSA SCIENTIFICが代理店として勤めております。

キーワード：安全性試験・幼若・生殖発生毒性試験・内分泌かく乱・薬物性肝障害(drug-induced liver injury：DILI)・環境リスクアセスメント

住所：251 Ballardvale Street Wilmington, MA 01887

TEL：781.222.6000 / E mail：askcharlesriver@crl.com / URL：www.criver.com

Cyagen

Cyagen is a global provider of genetically modified rodent models and cell and gene therapy solutions for R&D. Services include disease model development, viral vector manufacturing, CAR-T cell construction, and more. AI tools and CRO platforms accelerate drug discovery in specialized areas like ophthalmology, immuno-oncology, and neuroscience.

キーワード：rodent models・cell and gene therapy・CRO・ophthalmology・AI

住所：中国江蘇省蘇州市太倉市沙溪町振溪路69号

TEL：86-20-3160-1779／E mail：service@cyagen.jp／URL：https://www.cyagen.jp/

Cyprotex Discovery Limited



Established in 1999, Cyprotex Limited was acquired by Evotec (www.evotec.com) in 2016. Cyprotex, an Evotec company, has sites at Alderley Park near Macclesfield, UK and in Framingham near Boston, USA. The company has dedicated and highly qualified employees with proven experience in a wide range of specialist techniques acquired across diverse industries. The majority of our clients focus in pharmaceutical research, however, we also support clients in the chemical, cosmetics and personal care, agrichemical and tobacco industries. Cyprotex specialises in in vitro and in silico ADME and toxicology services. This includes in vitro ADME and safety assessment to support discovery projects, regulatory in vitro ADME and DDI studies during preclinical and clinical development, specialist techniques for assessing mechanisms of in vitro human and animal toxicity (e.g. transcriptomics, 3D models, high content screening, and MEA electrophysiology) and PBPK/QSAR modelling expertise.

キーワード：ADME-Tox・DDI・transcriptomics・DILI・High content screening

住所：No. 24, Alderley Park, Mereside, Cheshire SK10 4TG, UK

TEL：+44 1625 505100／E mail：enquiries@cyprotex.com／URL：https://www.cyprotex.com

Dt&CRO

DT&CRO is a company that specializes in non-clinical clinical trials, and carries out all clinical stages including live clinical trials, PK trials, and approval trials. And specializes in human clinical trials too. Not only is total clinical trials possible from the first phase, but it is also focusing on OS and PMs. We provides comprehensive services ranging from phase 1 to phase 3 clinical trials, PMS (clinical trial), and PV (drug monitoring).

キーワード：Pre-clinical・clinical・EDC Program・Central Lab

住所：28, Baengnyeong-ro 20beon-gil, Cheoin-gu, Yongin-si, Gyeonggi-do, Korea

TEL：+82 31-322-2400／E mail：jybaek@dtncro.co.kr／URL：http://www.dtncro.com/en/main/

Eurofins Advinus



Advinus

Eurofins Advinus provides comprehensive toxicology services to support Discovery, Preclinical & Early Clinical development programs for diverse industries. With 30+ years of GLP experience we ensure reliability & accuracy of data with the highest level of customer satisfaction. Data from our labs has been approved by various global regulatory authorities.

キーワード：Toxicology - IND and NDA enabling studies・Vaccine Toxicology・Agrochemical testing and REACH・Medical Device Testing・Carcinogenicity Studies

住所：21 & 22 Phase II, Peenya Industrial Area, Bangalore 560058, India

TEL：91-80-6655 2700／E mail：bd@advinus.com／URL：www.advinus.com

JOINN Laboratories

Founded in 1995, JOINN Laboratories is a company providing CRO services cover the entire spectrum from development to final drug registration. JOINN has built a thorough quality management system complied with the international standard: CNAS/ILAC-MRA, NMPA, US FDA, OECD, Japan PDMA and Korean MFDS GLP certification and international AAALAC accreditation.

キーワード : Nonclinical CRO services ・ PMDA GLP Inspected ・ FDA GLP Inspected

住所 : No. 5, Rongjingdong Str., BDA, Beijing, P.R.China

TEL : 86-10-67869966 / E mail : info@joinnlaboratories.com / URL : www.joinnlabs.com

Newcells Biotech



Newcells Biotech provides clients with validated in vitro tools to understand how drugs interact with tissues. We build functional in vitro models of the kidney, retina and lung to improve clinical translation and drug discovery. By applying our expertise in induced pluripotent stem cells (iPSCs), primary tissues, a deep understanding of cellular physiology and organoid technology, we have built validated models and assays that have proven to be predictive of how drugs interact with tissues and organs.

キーワード : Preclinical in vitro models ・ Renal transporter studies ・ Nephrotoxicity ・ Retinal Organoids ・ Lung Fibrosis

住所 : The Biosphere, Draymans Way, Newcastle Helix, Newcastle upon Tyne, UK, NE4 5BX

TEL : 0191 580 6184 / E mail : enquiries@newcellsbiotech.co.uk / URL : www.newcellsbiotech.co.uk

PRAKHYA RESEARCH LABORATORIES

We provide regulatory support for plant protection formulations , drugs, house hold products , insecticides/ pesticides/fungicides , bio simulants and bio protective agents for crop protection use. We advise on registration of all products data requirements, study report preparation , study monitoring , medical/ regulatory toxicology and pathology services and meet registration authorities to close approvals

キーワード : toxicology ・ medical ・ pathology ・ regulatory support ・ insecticide/pesticide/CRO

住所 : CHENNAI, INDIA

TEL : +91 8056023759 / E mail : prakhya@yahoo.com

Smithers



スミザーズは国際標準のガイドラインに沿った高次の環境試験を世界的な規模で行っています。次のような化学薬品製剤の環境生態試験を自社の研究所と野外試験場で行います：従来の農薬だけでなく新たな生物農薬製品の試験、医薬品の環境影響評価、REACHやTSCA登録のための試験及び殺生物剤の評価試験等。

キーワード : 環境毒性試験 ・ 内分泌攪乱物質試験 ・ 環境運命 ・ 代謝試験 ・ 残留 ・ 物化性試験 ・ 医薬品ERA

住所 : 106-0032 東京都港区六本木5-18-23 INACビル4F

TEL : 03-6862-7082 / URL : www.smithers.com.

株式会社VitroVo / VitroVo,inc.



MEA計測を中心とした化合物評価の豊富な経験を基に、クライアントのニーズに沿って試験計画を立案し、精度の高い化合物試験を実施致します。疾患モデルを含めた各種iPS由来ニューロン、心筋、脳オルガノイド、脳スライス、Rodent細胞を用意しています。共同研究開発、データ解析、スクリーニングも行います。

キーワード：神経・心筋・MEA・ヒトiPS細胞・毒性・薬効評価・オルガノイド・脳スライス

住所：982-0014 宮城県仙台市青葉区本町一丁目5番28号カーニープレイス仙台駅前通603号室(近日新規施設に移設予定)
TEL：022-706-4631 / FAX：022-706-7125 / E mail：info@vitrovo.co.jp / URL：https://vitrovo.co.jp

Vivotecnia SL



Vivotecniaは吸入毒性試験に特化したスペインのCROです。最先端の吸入装置とGLP認証施設を備え、単回投与毒性試験から反復投与毒性試験、殖発毒性試験、発がん性試験に至るまで豊富な実績を有します。株式会社ルナパス毒性病理研究所がVivotecniaの日本代理店を務めております。

キーワード：毒性試験・吸入投与・GLP

住所：28034 Calle Antonio De Cabezón 83 2 Planta, 1 Oficina, Madrid Spain
TEL：+34 91 728 07 13 / E mail：info@vivotecnia.com / URL：https://www.vivotecnia.com/

WuXi AppTec



WuXi AppTecは世界規模の医薬品研究開発製造受託機関として、最先端の技術と経験に基づき、あらゆる標的クラス・モダリティ・疾患に対応した数千の評価・樹立済みin vitro/vivoアッセイ、PKPD解析、毒性評価、サルやヒト検体を用いた試験、INDパッケージ・臨床試験サービスをご提供します。

キーワード：INDパッケージ・サルを用いた試験・毒性評価・薬理評価・薬物動態解析

住所：600-8815 京都府京都市下京区中堂寺栗田町9-3 KRP4号館 3階 KRP BIZ NEXT
TEL：075-315-1044 / E mail：Japan_Office@wuxiappotec.com / URL：https://wuxiappotec-japan.com/

ZeClinics SL



ZeClinicsはゼブラフィッシュ試験を専門とするスペインのCROです。一般毒性試験から生殖発生毒性、心毒性、発達神経毒性試験まで実施可能です。また、遺伝子改変による病態モデルの作製や薬効試験も得意としております。株式会社ルナパス毒性病理研究所がZeClinicsの日本代理店を務めております。

キーワード：ゼブラフィッシュ・毒性試験・薬効試験・代替法

住所：08980 C/ de Laure Mir, 408, 410, Sant Feliu de Llobregat, Barcelona
TEL：0034 930 240 373 / E mail：commercial@zeclinics.com / URL：https://www.zeclinics.com/

株式会社安評センター / BioSafety Research Center



弊社は設立以来、多くの安全性評価試験を受託しており、特にTGR試験(OECDTG488)は非常に高い評価を頂いております。また中期発がん性試験、中枢神経系をターゲットとした核酸医薬の評価として脳室内・髄腔内投与技術とCTを融合した試験、遺伝子改変マウス(KO・KI)作成/生産にも取り組んでいます。

キーワード：遺伝毒性試験・一般毒性試験・中期発がん性試験・核酸医薬・遺伝子改変マウス

住所：437-1213 静岡県磐田市塩新田582番地2

TEL：0538-58-1266 / FAX：0538-58-2961 / URL：<https://www.anpyo.co.jp>

岩瀬コスファ株式会社 / IWASE COSFA Co., Ltd.



岩瀬コスファ株式会社は2002年から韓国非臨床受託研究機関BIOTOXTECH社の日本代理店を行っています。

また、BIOTOXTECH社以外の国内外の様々な受託研究機関とも連携しており、in vivo試験・in vitro試験・ヒトを用いた評価試験・分析業務など、多様化するお客様のニーズに合わせた試験をご提案しております。

お気軽にお問合せください。

キーワード：安全性試験・有効性試験・非臨床試験・臨床試験

住所：100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-1

TEL：03-6841-3456 / E mail：cosfa-biox@cosfa.co.jp / URL：<https://www.cosfa.co.jp/>

一般財団法人化学物質評価研究機構 / Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan



CERIは医薬品をはじめ、化粧品、農薬、化審法等の申請用GLP試験を承っています。動物愛護に配慮したニジマス鰓細胞アッセイ及びゼブラフィッシュ胚発生毒性試験、医薬品不純物の評価(ICH M7対応、PDE・OEL設定、E&L評価)にも対応します。ご興味がございましたらぜひブースにお立ち寄りください。

キーワード：安全性試験・遺伝毒性試験・環境毒性試験・代替法・不純物評価

住所：112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル7F

TEL：03-5804-6134 / FAX：03-5804-6140 / E mail：cbc@cerij.jp / URL：<https://www.cerij.or.jp/>

株式会社化合物安全性研究所 / Safety Research Institute for Chemical Compounds Co., Ltd.



化安研は、非臨床および臨床試験の受託を行っているCROです。これまでに培ってきた経験をもとに、医薬品・医療機器・再生医療等製品など各種モダリティの開発における、非臨床試験から臨床試験までをワンストップサポートする体制を構築しています。コストを抑えながらも、質の高いサービスをご提案させていただきます。

キーワード：安全性試験・臨床試験・医療機器・再生医療等製品・農薬

住所：004-0839 札幌市清田区真栄363番24

TEL：011-885-5031 / FAX：011-885-5313 / E mail：KA-info@ka-anken.co.jp / URL：<https://www.ka-anken.co.jp>

コスモ・バイオ株式会社 / Cosmo Bio Co., Ltd.



コスモ・バイオでは、毒性・安全性評価に関連した様々な商品・サービスを取り扱っております。本学会では、肝スフェロイドモデルや腎毒性評価サービスなど、細胞を用いた*in vitro*のアッセイ系を中心にご紹介しております。

キーワード：肝毒性・腎毒性・スフェロイド・細胞アッセイ・種差評価試験

住所：135-0016 東京都江東区東陽二丁目2番20号 東陽駅前ビル
TEL：03-5632-9616 / E mail：dds_info@cosmobio.co.jp / URL：https://www.cosmobio.co.jp/

シミックファーマサイエンス株式会社 / CMIC Pharma Science Co., Ltd.



シミックファーマサイエンス株式会社は、各種GLP適合かつグローバルな品質保証体制のもと、最新の研究棟を所有する非臨床受託研究施設として、医薬品、医療機器、再生医療等製品などの安全性試験や有効性試験を行っています。また、iPS細胞を販売する韓国のNEXEL社と販売代理店契約を締結し、本年は共同でブースを出展いたします。

キーワード：安全性試験・GMP・再生医療等製品・医療機器・iPS

住所：408-0044 山梨県北杜市小淵沢町10221番地
TEL：0551-36-2455 / FAX：0551-36-3895 / E mail：yutaka-takano@cmic.co.jp /
URL：https://www.cmicgroup.com/corporate/group/cmic-phs/

株式会社新日本科学 / Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.



弊社は、1957年に鹿児島で誕生した、日本初の医薬品開発受託研究機関(CRO)です。創業以来、非臨床試験受託事業において確固たる事業基盤を築き、その成長は日本国内に留まらず、米国を中心としたグローバル化を他社に先駆けていち早く成し遂げています。非臨床試験、臨床試験、さらには事業開発までトータルにサポートする総合力を、世界に向けて発信しています。

キーワード：CRO・医薬品開発受託機関・医薬品開発サポート・非臨床試験・非臨床コンサルティング

住所：891-1394 鹿児島県鹿児島市宮之浦町2438
TEL：099-294-2600 / FAX：099-294-3619 / E mail：info@snbl.com / URL：https://www.snbl.co.jp/

積水メディカル株式会社 / SEKISUI MEDICAL CO.,LTD.



積水メディカルは非臨床薬物動態試験を中心にTK測定、*in vitro*肝毒性予測、*in vitro*安全性薬理評価など、幅広く創薬支援を行っております。

是非お気軽に当社展示ブースにお立ち寄りください。

キーワード：肝毒性予測・バイオアナリシス・バイオマーカー・安全性薬理

住所：103-0027 東京都中央区日本橋2-1-3
TEL：03-3271-5634 / E mail：toiawaseyakudo@sekisui.com / URL：https://www.sekisui-medical.jp/business/adme_tox/

日精バイリス株式会社 / NISSEI BILIS CO., LTD.



日精バイリス株式会社は安全性試験、薬理試験、品質試験等の受託研究機関です。
得意とする薬理試験の経験値を生かした副次的薬理試験、特に化合物の催吐評価においては多数の実績があります。

様々な試験メニューを有しておりますので、是非展示ブースへお立ち寄り下さい。

キーワード：非臨床・薬理・安全性・受託

住所：528-0052 滋賀県甲賀市水口町宇川555

TEL：0748-63-5250 / FAX：0748-63-0735 / E mail：info@bilis.co.jp / URL：http://www.bilis.co.jp

一般社団法人日本安全性試験受託研究機関協議会 / Japan Association Contract Laboratories for Safety Evaluation (JCAL)

35年以上の歴史を持つ非臨床試験受託研究機関の協議会で、正会員14機関、賛助会員1機関で構成されています。主な取組みは、1. 諸情報の共有、2. 関係諸団体との連携、3. 非臨床試験の市場調査、4. 講演会等の開催、5. 製薬協との共同の運営管理者意見交換会の実施、6. 認定技術者制度の運営、7. 教育テキストの販売等です。

キーワード：安研協・非臨床試験受託研究機関協議会・安研協認定技術者認定制度・安全性試験の教育・研修テキスト

住所：288-0874 千葉県銚子市豊里台1-1044-534

TEL：0479-21-3016 / FAX：0479-21-3016 / E mail：ankenkyou.office@gmail.com / URL：https://jacl.or.jp/

一般財団法人日本食品分析センター / Japan Food Research Laboratories



JFRLは分析機関のトップランナーとして分析業務だけでなく、分析技術の向上や品質保証体制の強化にも取り組み、お客様の多様なニーズに応えてまいりました。医療機器GLP・医薬品GMPに準拠した各種in vivo及びin vitro安全性試験を受託しておりますので、お気軽にご相談ください。

キーワード：生物学的安全性試験・埋植試験・ヒト血を使った血栓性試験・代替法・医薬品・医療機器・再生医療等製品

住所：151-0062 東京都渋谷区元代々木町52-1

TEL：03-3469-7131 / FAX：03-3469-7009 / URL：https://www.jfrl.or.jp/

株式会社日本バイオリサーチセンター / Nihon Bioresearch Inc.



医薬品、医療機器、再生医療等製品の非臨床試験を実施している開発型・提案型のコントラクトラボです。ミニブタ専用施設や小動物の高度免疫不全動物専用施設、BSL IIの感染施設も有します。特にミニブタを用いた試験は650試験を超える実績があります。モデル構築試験からも実施しますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

キーワード：ミニブタ・再生医療・薬理・感染・医療機器

住所：501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6-104

TEL：058-392-2431 / E mail：nbrkikaku@nisshin.com / URL：https://www.nbr.co.jp/

(株)バイオトクステック / Biotoxtech.co.,Ltd.



Biotoxtechは非臨床毒性研究に専門性があり、INDとNDA申請に必要な毒性試験サービスを提供します。アメリカ、日本、欧米などの規制機関に数百件以上の報告書を提出しました。また、AAALAC認証を保有していて、韓国内のCRO中で唯一のアメリカFDAからのGLP認証をもった企業です。医薬品開発の初期段階からNDAに至るまでの総合非臨床サービスプラットフォームとしてサービスを提供します。ご興味がございましたらぜひブースにお立ち寄りください。

キーワード：前臨床試験・分析・創薬支援・サル・細胞遺伝子治療剤

住所：28115 韓国 忠清北道 清州市 清原区 梧倉邑 研究団地路 53

TEL：(+82)43-210-7741 / E mail：mst@biotoxtech.com / URL：http://jpn.biotoxtech.com/

ファーマロン・ジャパン合同会社 / Pharmaron Japan LLC



ファーマロンは、ライフサイエンス業界において高品質の研究開発サービスを提供する研究受託機関です。低分子、生物学的製剤、細胞治療・遺伝子治療製品を含む複数のモダリティにまたがる創薬、前臨床、臨床開発プロセス全体にわたる幅広い研究、開発、製造サービスを提供します。

キーワード：バイオアナリシス・in vitro ADMET・生物学的製剤、細胞治療及び遺伝子治療・環境毒性評価・放射性標識体合成

住所：136-0082 東京都江東区新木場2-3-8 三井リンクラボ新木場1

TEL：03-5534-6686 / FAX：03-5534-6687 / E mail：info@pharmaronjapan.co.jp / URL：https://pharmaronjapan.co.jp/

株式会社ボゾリサーチセンター / BoZo Research Center Inc.



ボゾリサーチセンターは医薬品・医療機器・再生医療等製品、医薬部外品、化学物質、農薬、食品・食品添加物・トクホ、動物用医薬品など様々な分野において、豊富な経験と高い技術力による信頼性の高い試験を提供しています。

キーワード：安全性試験・毒性試験・分析試験・遺伝毒性試験・薬効薬理試験

住所：1510065 東京都渋谷区大山町36-7

TEL：03-5453-8101 / URL：https://www.bozo.co.jp/

メタボロン / Metabolon Inc.



毒性・薬理試験を含む医薬品開発、バイオマーカー探索、マイクロバイオーム、創薬、ライフサイエンス研究をサポートするメタボローム解析サービスの世界的リーダー。20年以上の実績をもとに、試験デザインのコンサルテーションから解析レポートまでワンストップでサポートします。

キーワード：網羅的メタボローム解析・ターゲット完全定量メタボローム解析・バイオマーカー探索・GCP/GLP・バイオインフォマティクス

住所：27560 617 Davis Drive, Suite 100, Morrisville, NC USA

TEL：080-6302-3627 / E mail：info_jp@metabolon.com / URL：https://www.metabolon.com/

メディフォード株式会社 / Mediford Corporation



メディフォードは今後も医薬品、再生医療等製品、医療機器、農薬、化学物質、化粧品等さまざまな分野からのご要望にお応えすべく、GLP評価認証の試験施設はもとより、先進的な技術と知見、そして長年の経験を通じて培った総合力によりお客様の研究開発パートナーとして高水準の非臨床・治験サービスを提供いたします。

キーワード：非臨床・治験・再生医療・PDX・薬物分析

住所：174-0053 東京都板橋区清町 36番 1号
TEL：03-6905-5861 / URL：<https://www.mediford.com/>

株式会社薬物安全性試験センター / Drug Safety Testing Center Co., Ltd.



DSTCではICH S7B ベストプラクティスはGLP実績多数。医薬品、医療機器、健康食品をはじめとする様々な安全性試験を丁寧かつ迅速に対応。安衛法や化審法GLPに対応したAmes試験は最短納期で実施可。眼科薬理評価も好評です。お客様のニーズに合わせて親身にサポートします。詳細についてはお気軽にご相談ください。

キーワード：機能性食品・ベストプラクティス・hERG・Ames・医療機器

住所：355-0166 埼玉県比企郡吉見町黒岩25-1
TEL：0493-54-3239 / FAX：0493-54-5274 / URL：<https://www.dstc.jp/>

ユーロフィンEAGアグロサイエンス / Eurofins EAG Agrosience, LLC. Easton



agrosience services

With over 30 years of experience in Crop Protection, Eurofins Agrosience Services USA is a CRO offering exceptional technical knowledge and testing to plant health and crop protection manufacturers, the agri-tech sector, plant breeders and the seed industry.

キーワード：ecotoxicology・analytical chemistry・product chemistry・biological analytical support・environmental fate・aquatics & avian toxicology

TEL：+1 (605) 651-0447 / E mail：easinfo@eurofins.com / URL：www.eurofins.com/agrosienceservices

ユーロフィンディスカバリー / Eurofins Discovery



DISCOVERY

Eurofins Discovery (ユーロフィンディスカバリー)は、四十年以上の経験、専門および技術を駆使して、医薬品開発のあらゆる段階において、お客様の創薬研究のスピードアップに役立つ最先端の技術および製品サービスを提供致します。是非ブースへお立ち寄り下さい。

キーワード：In Vitro薬効薬理試験・安全性薬理試験・CIPA心毒性試験・ADME-TOX試験・表現型プロファイリングサービス

住所：92121 11180 Roselle Street, Suite D San Diego, CA, USA
TEL：+1-858-224-6900 / E mail：marketing.apac@eurofinsasia.com / URL：<https://www.eurofinsdiscovery.com/>

ラボコーポラトリーズジャパン / Labcorp Laboratories Japan



Labcorpはアメリカに本社を置くグローバルライフサイエンス企業です。日本から欧米及びAPAC市場への医薬品導入に関心をお持ちの製薬会社様や研究者様をサポートし続け、新規化合物開発・各国登録をサポートするため、複数の試験(環境動態・代謝、残留物分析、毒性試験、発生・生殖試験、ヒト安全性試験、他)を行っております。

キーワード：Early Development・Central Laboratory Services・Cell & Gene Therapy (GCT)・Companion Diagnostics (CDx)/Biomarker・ADC

住所：104-6108 東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリトンスクエアオフィス棟 11F

TEL：+81 (3) 6837 9530 / URL：<https://biopharma.labcorp.com/industry-solutions/by-geography/asia-pacific.html>

BioSpyder Technologies, Inc

BioSpyder™
Biology to Barcodes™

BioSpyder Technologies Inc. has developed TempO-Seq™, a gene expression profiling tool for high-throughput sequencing of hundreds to thousands of genes. TempO-Seq can analyze samples with thousands or single cells without pre-amplification, allowing efficient use of limited samples. Sample barcoding and sequencing short gene fragments enable pooling up to 6,144 samples in one run. Flexible and customizable, TempO-Seq offers unprecedented accuracy, sensitivity, and simplified data analysis without bioinformatics. It provides an easy solution for expression profiling across species.

キーワード: Extraction Free · Gene Expression Profiling · RNASeq · Transcriptomics · Single Cell

住所: 5928 Pascal Court, Suite 100, Carlsbad, CA, 92008

TEL: 760-476-1800 / E mail: garrettmcomb@biospyder.com / URL: biospyder.com

イワキ株式会社 / IWAKI&CO.,LTD.

当社は、ヒト気道上皮細胞を3D細胞培養モデルに再構成した「MucilAir」やBBB(血液脳関門)を構成する3種類の細胞の特性を保持した世界初の細胞培養モデル「BBBキット」を販売しており、創薬研究や環境毒性研究等の分野における幅広いニーズに対応しています。

キーワード: MucilAir · BBB · 細胞培養モデル · 薬剤透過性試験 · 長期毒性試験

住所: 116-0014 東京都荒川区東日暮里4-1-2-1

TEL: 03-6733-0227 / FAX: 03-6733-0228 / E mail: bio@iwaki-kk.co.jp / URL: https://www.iwaki-kk.co.jp/

関東化学株式会社 / Kanto Chemical Co., Inc.

 関東化学株式会社

関東化学株式会社は、総合試薬メーカーとして、各種組織モデル作製や安全性試験に有用な試薬を提供しております。ブースでは、細胞培養用器材「ad-MED ビトリゲル」シリーズ、TEER測定装置、iPS細胞由来小腸モデル作製用培地、肝細胞用培地などの製品見本を展示しています。また、眼刺激試験法「Vitrigel-EIT法」をご紹介します。

キーワード: 細胞アッセイ・セルカルチャーインサート・角膜モデル・消化管毒性・生体模倣システム(MPS)

住所: 103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 室町東三井ビルディング

TEL: 03-6214-1090 / E mail: bio-info@kanto.co.jp / URL: https://www.kanto.co.jp/

クラボウ / KURABO



正常ヒト細胞をカルチャーインサート内に3次元的に培養した製品、MatTek社3次元モデルを販売しております。製品ラインアップには腫上皮モデルをはじめ、皮膚/気管支/肺胞/口腔/角膜/小腸モデルなどを取り揃えております。多層化・分化したモデルはin vivo様の構造や機能を有し、より生体に近い環境での評価が可能です。

キーワード: 3次元モデル・正常ヒト細胞・呼吸器系・刺激性試験・腫上皮

住所: 572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30 クラボウ先進技術センター 2F

TEL: 072-820-3079 / URL: https://www.kurabo.co.jp/bio/

株式会社ケー・エー・シー / KAC Co., Ltd.



(株)ケー・エー・シーは実験動物飼育管理業務を事業の主軸としており、バイオサイエンスのトータルサポートを通じて健康社会に貢献いたします。本学会では、1) 実験動物学・実験手技のeラーニング研修、2) 実験動物関連の受託試験業務、3) 新しいヒト肝細胞：HepaSHやECACC細胞株、血液・皮膚等の生体試料などのご紹介をしております。

キーワード：e-SEAs・受託試験・HepaSH・ECACC標準細胞株・生体試料

住所：604-8423 京都府京都市中京区西ノ京西月光町40番地

TEL：075-801-9311 / FAX：075-801-7688 / E mail：soumu-support@kacnet.co.jp / URL：https://www.kacnet.co.jp/

株式会社高研 / Koken Co., Ltd.



アテロコラーゲンをを用いたin vitroモデル系の作製が可能です！

ゲルやスポンジ、メンブレンなど、生体内の環境や位置関係を再現する実験について、ブースへご相談にいらっしゃいませんか？。

キーワード：3D/オルガノイド培養・共培養・MPS・皮膚モデル・透過性試験

住所：112-0004 東京都文京区後楽1-4-14

TEL：03-3816-3525 / FAX：03-3816-3570 / E mail：support@atelocollagen.jp / URL：https://atelocollagen.com/

日機装株式会社



日機装株式会社は医療機器や産業精密機器で培った技術をバイオ分野へと発展させ、創薬研究用ヒト腎細胞「3D-RPTEC」を開発しました。3D-RPTECは薬物トランスポーター発現の高い腎臓スフェロイドです。ブースにて細胞サンプルや腎毒性試験の資料を取り揃えております。是非お立ち寄りください。

キーワード：腎臓・腎毒性・薬物動態・トランスポーター・スフェロイド

住所：920-0177 石川県金沢市北陽台3-1

TEL：076-257-4137 / FAX：076-257-4209 / E mail：3D-RPTEC@nikkiso.co.jp / URL：https://www.nikkiso.co.jp/products/industrial/3drptec/

日本毛織株式会社



ヒトiPS由来心筋細胞・神経細胞の3Dモデル作製と機能評価を可能とするゼラチン繊維基材(Genocel)をご紹介します。受託評価についてもご相談ください。

【ヒトiPS心筋】

催不整脈性、心収縮障害、心毒性(構造)のマルチパラメーター評価

【ヒトiPS神経】

安定的な神経ネットワークの構築、同期バースト・伝導障害の評価

キーワード：心毒性・神経毒性・3Dモデル・ヒトiPS細胞由来分化細胞・3D培養

住所：675-0053 兵庫県加古川市米田町船頭440

TEL：079-431-2105 / E mail：nrdc@nikke.co.jp / URL：https://www.kyoto-mp.co.jp/

富士フイルム和光純薬株式会社 / FUJIFILM Wako Pure Chemical Corporation

FUJIFILM
富士フイルム 和光純薬株式会社

富士フイルム和光純薬株式会社は、再生医療や創薬探索、神経科学など多岐における分野の研究用試薬・機器・受託を取り扱っております。

日々の研究でお困りごとがございましたら、ぜひ弊社のブースにお立ち寄り頂き、ご相談ください。皆様のお役に立てますと幸いです。

キーワード：毒性・ヒトiPS細胞由来分化細胞・生体模倣システム(MPS)・CRO

住所：540-8605 大阪市中央区道修町3-1-2

TEL：0120-052-099 / E mail：fwwk-labchem-tec@fujifilm.com / URL：https://labchem-wako.fujifilm.com

株式会社ベリタス / Veritas Corporation



毒性試験で用いられるヒト生体試料、ヒト初代細胞などに加え、様々な毒性評価系で活用可能なオルガノイド培養用培地や神経生理学研究用培地など、毒性試験向けの製品をトータルでご提案させていただきます。

キーワード：ヒト生体試料・オルガノイド培地・ヒトiPSC由来神経分化培地・神経生理学研究用培地・造血コロニーアッセイ

住所：105-0013 東京都港区浜松町1丁目18-16 住友浜松町ビル6階

TEL：03-5776-0078 / E mail：rpt@veritastk.co.jp / URL：https://www.veritastk.co.jp

マイキャン・テクノロジーズ株式会社 / MiCAN Technologies Inc.

MiCAN
MiCAN Technologies Inc.

注射剤医薬品、医療機器等を出荷する際に発熱性物質の混入を検査する必要がある。検査にはウサギやカブトガニを利用した手法があるが、代替法も開発されている。代替法は単球活性化試験(MAT法)が注目を集めており、弊社技術を用いて開発したMylc細胞は本試験に利用可能である。

キーワード：エンドトキシン・発熱性物質試験・動物実験代替法・単球活性化試験・Monocyte Activation Test

住所：615-8245 京都市西京区御陵大原1-36 京大桂ベンチャープラザ

TEL：075-381-3008 / E mail：info2@micantechnologies.com / URL：https://www.micantechnologies.com/

株式会社レビティジャパン / Revvity Japan Co., Ltd.

Revvityは、革新的な技術とソリューションを駆使し、ライフサイエンスと診断分野におけるイノベーションを推進し、世界中の人々の生活の質の向上に貢献しています。イメージングを用いたin vitroの評価系を自動化する、共焦点タイプのハードウェアとAIに対応した解析ソフトウェアを提供しています。

キーワード：細胞イメージング・in vitro毒性試験・オルガノイド・Organ-on-chip・自動化

住所：222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-3 EPIC TOWER SHIN YOKOHAMA 7階

TEL：045-330-9615 / URL：www.revvity.co.jp

ロンザは初代培養細胞のパイオニアとして、30 年以上にわたり高品質の初代細胞を供給してきました。なかでも肝臓細胞はドナーごとの特性を活かしたご用途が多いため、お客様の研究に適したロット/ドナーを必要バイアル数確保した、ロットリザーブサービスもご用意しています。詳しくは5Fロンザ展示ブースへお越し下さい。

キーワード：初代ヒト体細胞・肝臓細胞・専用培地・遺伝子導入装置・マイコプラズマ検出

住所：103-0027 東京都中央区日本橋2-1-14 日本橋加藤ビルディング9F

TEL：03-6264-0660 ／ E mail：bioscience.sales.jp@lonza.com ／ URL：https://www.lonzabio.jp/index.html

Axion BioSystems Japan 合同会社 / Axion BioSystems Japan GK



Maestro Pro/Edge は、ハイスループット環境下での、ラベルフリー細胞毒性評価プラットフォームを提供します。MEA (Micro Electrode Array) アッセイでは、神経細胞及び心筋細胞の電気的な活動を測定し、神経毒性・心毒性を評価します。インピーダンスアッセイでは、長期間・連続した細胞毒性の評価が可能です。

キーワード：神経毒性評価・心毒性評価・細胞毒性評価・MEA・in-vitro 細胞毒性評価

住所：108-0075 東京都港区港南2-16-4 グランドセントラル8階
TEL：03-6863-5453 / E mail：info-japan@axionbio.com / URL：https://www.axionbiosystems.com/

アジレント・テクノロジー株式会社 / Agilent Technologies Japan, Ltd.

アジレントはライフサイエンス、診断、応用化学分野のリーダーとして、世界中のラボ向けに装置、サービス、消耗品、アプリケーションを提供し、お客様の研究に貢献しています。当社はこれからも信頼性の高い製品群をお客様に提供してまいります。

キーワード：細胞毒性・セルアナリシス・細胞解析・ミトコンドリア毒性

住所：192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1
TEL：0120-477-111 / E mail：email_japan@agilent.com / URL：https://www.chem-agilent.com/

ウシオ電機株式会社 / USHIO INC.

USHIO

神経MPSプレート／AI神経毒性解析

神経突起を形成できる流路プレートとAI画像解析の組み合わせで、簡便でハイスループットな末梢神経毒性評価を実現いたします。ヒトiPS神経を用いた事例紹介いたします。

開発紹介：創業課題に貢献するため様々な技術開発を行っております。

・胆汁回収MPS ・チップ工房(受託開発)

キーワード：神経毒性評価・神経プレート・Organs On Chip / Microphysiological Systems ・
光ソリューション・受託開発

住所：100-8150 東京都千代田区丸の内1-6-5
TEL：03-5657-1000 / E mail：bioplate@ushio.co.jp / URL：https://www.ushio.co.jp/jp/feature/organs-on-chip/

株式会社エビデント

EVIDENT

細胞毒性試験(コロニー形成阻害試験／ISO10993-5)のハイスループットを可能にするAI画像解析とイメージングシステムやインキュベーター内の細胞培養を遠隔モニタリングできるシステムを出展します。

キーワード：細胞培養・顕微鏡・AI画像解析・毒性病理・コロニー形成阻害試験／ISO10993-5

住所：163-0910 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス
TEL：070-7143-0691 / URL：https://www.olympus-lifescience.com/ja/

オレンジサイエンス株式会社(emka TECHNOLOGIES 日本総代理店)

お客様の研究をサポートする、海外製研究用装置の輸入商社です。

- ・肺機能解析、呼吸測定解析、吸引暴露装置
- ・バイオポテンシャル測定用 テレメトリー各種
- ・切片スライサー（ビプラトーム）、組織透明化試薬

キーワード：テレメトリー・呼吸解析・動物実験機器・心電・血圧解析・バイオポテンシャル測定

住所：222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-18 日総第18ビル 5階

TEL：050-5433-8000 / E mail：info@orangescience.co.jp / URL：https://www.orangescience.co.jp/

キーストンサイエンティフィック株式会社 / Keystone Scientific K.K.



*ブースNo.101

弊社ではシンガポールを本社に置くA-Starからのスピンオフ企業であるリビオバイオシステムズ社の人皮膚に対する治療効果を4Dスキンチップを使用してより現実的なin-vitroでの安全性試験を行うための全自動フラクションコレクター”ReleGo”のご紹介しております。

また、アメリカ本社のパーマギア社のin-vitro経皮吸収試験による拡散セルもご紹介しております。

キーワード：4Dスキンチップ用微小流体デバイス・次世代型 Ex-Vivo & In-Vitro透過試験・透過試験・皮膚培養・経皮吸収実験用拡散セル

住所：170-0002 東京都豊島区巣鴨1-4-7 MKビル4F

TEL：03-6912-1535 / E mail：info@keystone-scientific.co.jp / URL：http://www.keystone-scientific.co.jp

キコーテック株式会社 / KIKO TECH CO.,LTD.



キコーテック株式会社

キコーテック株式会社は、毒性・安全性評価のお役に立てる最先端の製品を販売しています。本学会では、ディーブラーニング機能を搭載した病理画像解析ソフトウェアのVisiopharm、組織多重染色・解析に豊富な実績を有するAkoya Biosciences社の染色試薬と画像解析システムをご紹介します。

キーワード：画像解析・組織・細胞解析・多重染色

住所：211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子三丁目1200番地 KDX武蔵小杉ビル

TEL：044-430-3245 / FAX：044-433-4390 / E mail：kiko_bizdev@kiko-tech.co.jp / URL：https://www.kiko-tech.co.jp/

ザルトリウス・ジャパン株式会社 / Sartorius Japan K.K.

SARTORIUS

細胞をCO2インキュベーター内で培養しながら、画像取得から定量解析までを自動で行えるIncucyte生細胞解析システムを展示いたします。

セットした複数のプレートそれぞれに対して、短期間から数週間を超える期間でも継続的に細胞の画像を取得、そして位相差像および蛍光像をもとにした経時的定量評価を実現します。

5日のランチョンセミナー（L3-7）にもぜひご参加ください。

キーワード：生細胞解析・ラベルフリー解析・タイムラプスイメージング・継続的細胞毒性評価・スクリーニング

住所：140-0001 東京都品川区北品川1-8-11 Daiwa品川Northビル4階

TEL：03-6478-5200 / E mail：info.jps@sartorius.com / URL：https://www.sartorius-labsolutions.jp/

シスメックス株式会社 / Sysmex Corporation



シスメックスは、医療検査の分野で培った技術で非臨床分野における血液検査と快適なユーザビリティの実現に向けて取り組んでいます。血算、凝固、生化学分野における実験動物用分析装置や細胞計測装置を紹介いたします。

本大会では展示ブースの他、ポスター発表を予定していますので是非お立ち寄り下さい。

キーワード：非臨床・血液検査・動物血・細胞・骨髄

住所：651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号

TEL：078-991-2091 / E mail：labscience@sysmex.co.jp / URL：www.sysmex-labscience.jp

株式会社シンファクトリー / SHINFACTORY CO.,LTD

シンファクトリーはライフサイエンス分野最先端の輸入品、国産品の九州代理店として研究者のニーズにお答えし、代謝実験機器を中心とした製品のメーカーとして全国の研究機関のお役に立ちたいと考えています。

近年、世界各国で環境ホルモンの影響や生活習慣病などが深刻な問題になり、また国内においてもそれに加え喘息・アレルギー・認知症患者の増加はその対策が急がれております。

シンファクトリーはその予防・創薬などに役立つ研究機器を開発し製造・販売を通じて社会貢献を考えた企業として皆様と共に歩んでいきたいと考えております。

キーワード：ローデント用鼻部吸入曝露装置・ローデントの摂食・飲水・運動量測定

住所：813-0035 福岡県福岡市東区松崎2丁目10番14号

TEL：092-692-4130 / FAX：092-692-4131 / E mail：info@shin-t.co.jp / URL：http://www.shin-t.co.jp/

住商ファーマインターナショナル株式会社 / Summit Pharmaceuticals International Corporation



当社は、独自に探索・評価した国内外の「研究資材・機器」を研究者の方々にご紹介し、各種研究支援サービスを提供しています。この度は、催奇形性や胎児毒性評価のソリューションとして小動物用マイクロCT、遺伝子変異や発現解析等の遺伝毒性評価目的で有用な次世代シーケンサーを展示ブース「115」にて紹介致します。

キーワード：毒性評価・実験動物用 3DマイクロX線CT・次世代シーケンサー・

空間トランスクリプトーム解析・In Vivo 発光・蛍光 Imaging

住所：100-0003 東京都千代田区一ツ橋一丁目2番2号 住友商事竹橋ビル12階

TEL：03-5220-1520 / FAX：03-5220-1521 / E mail：bioinfo@summitpharma.co.jp /

URL：https://www.summitpharma.co.jp/japanese/service/products/index.html

住友ベークライト株式会社



SUMILONブランドで高品質な培養器材を取り扱っております。現在、創業支援ツールでありますMPSの開発に注力しており、特に心毒性評価系でお使いいただけるMPS器材を展示しておりますので、是非展示ブースへお立ち寄りください。

キーワード：MPS・Organ on a chip・オルガノイド・三次元培養

住所：140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル

TEL：03-5462-4831 / FAX：03-5462-4835 / E mail：s-bio_inquiry@mml.sumibe.co.jp /

URL：https://www.sumibe.co.jp/product/s-bio/index.html

株式会社セルシード / CellSeed Inc.



薬物や毒素などが細胞層のバリア機能に与える影響評価、血液脳関門研究などでご使用いただける、細胞タイトジャンクションリアルタイムモニタリングシステムcellZscope、細胞に損傷を与えるトリプシンを用いることなく簡単に細胞回収を行える温度応答性細胞培養器材UpCellシリーズなどを展示いたします。

キーワード：タイトジャンクション・バリア機能・TEER・薬物動態・トリプシンフリー

住所：135-0064 東京都江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル東棟15F

TEL：03-6380-7490 / FAX：03-6380-7491 / E mail：sales.ccw@cellseed.com / URL：https://www.cellseed.com/

株式会社ニコンソリューションズ / NIKON SOLUTIONS CO., LTD.

Nikon

近年、ヒト幹細胞や細胞分化技術を応用し、生体外での薬剤候補化合物の効果や毒性の評価が盛んに行われており、様々な評価系が開発・利用されています。

ニコンでは光学技術を用いたAI搭載デジタル顕微鏡をはじめ、各種生物顕微鏡、撮影・解析の受託サービスなどのサービスを展開しております。

キーワード：デジタル顕微鏡・画像解析・創薬支援・シグナルパスウェイ解析・
臓器チップ/Microphysiological System

住所：140-0015 東京都品川区西大井1-6-3

TEL：03-3773-8138 / E mail：Nsl-bio.Marketing@nikon.com / URL：https://www.nsl.nikon.com/jpn

バイオリサーチセンター株式会社



バイオリサーチセンター株式会社

「ライフサイエンス研究者の良きパートナーとして」を会社の理念と掲げ、名古屋、東京、大阪、福岡、仙台に拠点を置きPowerLabシステムを始め、行動薬理、神経科学、遺伝学オプトジェネティクス機器等を販売しています。

ヘッドワーク・ハートワーク・フットワークの3つのワークで、研究者のニーズに応えます!!

キーワード：Powerlab

住所：461-0001 愛知県名古屋市東区泉2-28-24 東和高岳ビル4F

TEL：052-932-6421 / URL：https://www.brck.co.jp/index.php

浜松ホトニクス株式会社 / HAMAMATSU PHOTONICS K.K.

HAMAMATSU

PHOTON IS OUR BUSINESS

弊社は、創薬支援・毒性評価における市場ニーズに合わせた研究開発をサポートする「イメージングソリューション」を提供しています。本学会での展示では組織スライドを高速・全自動でデジタル化する装置、ヒト由来iPS細胞(神経・心筋)を使った安全性評価装置、3次元オルガノイドスクリーニング装置を展示しています。

キーワード：組織イメージング・iPS細胞・オルガノイドスクリーニング

住所：431-3196 静岡県浜松市中央区常光町812

TEL：053-431-0150 / E mail：sales@sys.hpk.co.jp / URL：www.hamamatsu.com

フィジオマキナ株式会社 / PHYSIO MCKINA Co., Ltd.



TissUse社のHUMIMICでは、最大5種類の臓器細胞を共培養することができ、より生体に近い条件での、安全性や毒性、薬効・薬理、動態の評価が可能となります。展示ブース(No.36)に是非お立ち寄りくださいませ。

キーワード：生体模倣システム(MPS)・三次元培養・動物実験代替法・Organ on a chip

住所：343-0816 埼玉県越谷市弥生町1-4 越谷弥生ビル2F

TEL：050-3536-1817 / E mail：contact@physiomckina.co.jp / URL：https://www.validation.co.jp/

プライムテック株式会社 / Primetech Corporation



・[秋頃発売]DSI社 活動量モニタリングラックシステム VivaMARS

-マウスとラットの両方に対応するモジュール式のポータブルシステム設計

-最大30ケージ迄可 (GLP対応予定)

・均一なオルガノイドの選択から拡大培養迄：

全自動細胞単離・回収システム CellRaft AIR&3D細胞培養インキュベータ CERO 3D

キーワード：3D培養・行動評価・無侵襲睡眠解析・投与・採血

住所：112-0002 東京都文京区小石川1-3-25 小石川大国ビル2F

TEL：03-3816-0851 / E mail：marketing@primetech.co.jp / URL：https://www.primetech.co.jp/

株式会社ブラスト / BLAST Inc.



ブラスト社は窒素ガスを用いず低酸素に制御できる世界初の超小型低酸素インキュベーターを商品化しました。簡便で省スペースに設置でき、顕微鏡にも搭載してハイポキシアでの細胞培養をライブで観察できます。ブースで実機をご覧ください。

キーワード：細胞培養・低酸素・ライブセル・タイムラプス・インキュベーター

住所：212-0011 神奈川県川崎市幸区幸町2-593モリファーストビル4F

TEL：050-3786-5086 / E mail：info@blast.co.jp / URL：https://blast.co.jp

三井化学株式会社 / Mitsui Chemicals, Inc.



InnoCell®とは当社が保有するユニークな素材をもとに開発された次世代の細胞培養に関わるソリューションです。InnoCell®プレートは、酸素濃度の制御・低薬剤吸着性・低自家蛍光の特長をご提供致します。肝細胞・幹細胞・iPS細胞の他、組織、スフェロイド等の3次元培養の応用例をご紹介します。

キーワード：3次元培養・酸素濃度の制御・低自家蛍光

住所：104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー

TEL：03-6880-7523 / E mail：InnoCell@mitsuichemicals.com /

URL：https://jp.mitsuichemicals.com/en/special/innoCell/index.htm

ミメタスジャパン株式会社 / Mimetas Japan K.K.

MIMETAS

MIMETAS社は、細胞の生理環境を最もリアルに再現する革新的な技術を提供しています。当社の組織培養チップ、製品名OrganoPlateや独自のハイスループット上皮電気抵抗(TEER)測定装置の製造販売及び、創薬支援事業として受託研究サービスを提供しています。MIMETAS社の展示ブースにぜひお越しください。最新の臓器チップ技術や研究例についてご紹介させていただきます。

キーワード：OrganoPlate・MPS・TEER・Phenotypic assay・オーガンオンチップ

住所：103-0023 東京都中央区日本橋本町3-8-3 ライフサイエンスビル3 8階

TEL：03-4400-5934 / E mail：info-jp@mimetas.com / URL：https://www.mimetas.com

株式会社メニコン / Menicon Co., Ltd.



メニコンは瞳の健康を守るため、研究開発とそこから生まれた高品質の「モノづくり」にこだわってきました。そのチャレンジ精神を、眼科医療以外である理化学機器分野へ発展させました。今回は培養細胞伸展システムと画像鮮明化装置の紹介を致します。

キーワード：細胞培養・伸展刺激・メカニカルストレス・画像鮮明化・リアルタイム鮮明化

住所：452-0805 愛知県名古屋市西区市場木町390番地 ミュキビジネスパーク四号館

TEL：052-325-7385 / FAX：052-325-7386 / E mail：info@menicon-lifescience.com /

URL：https://www.menicon-lifescience.com/

メルク株式会社 / Merck Ltd.

MERCK

メルク株式会社のライフサイエンス・ビジネスは、バイオサイエンス基礎研究から創薬、医薬品製造などのライフサイエンス分野に関わる製品・サービスを展開しています。

イムノアッセイ関連装置・試薬やオルガノイド関連製品など、皆様の研究に貢献できる製品をご紹介します。

キーワード：バイオマーカー探索・定量・マルチプレックスアッセイ・イムノアッセイ・オルガノイド・毒性バイオマーカー

住所：153-8927 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー 5F

TEL：03-5434-6334 / URL：https://www.merckmillipore.com/

モレキュラーデバイスジャパン株式会社



iPS細胞やオルガノイドの培養にお困りではないですか?是非お立ち寄りください。

- iPS細胞、患者由来細胞、スフェロイド、オルガノイドの細胞培養に興味関心がある方
- 細胞培養プロセスの生産性向上、培地交換や継代にお困りの方
- 未分化幹細胞の培養プロセス、分化過程において課題をお持ちの方

キーワード：オルガノイド・iPS細胞・細胞培養・イメージング・細胞株開発

住所：103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-8 いちご日本橋イーストビル7F

TEL：0120-993-656 / E mail：info.japan@moldev.com / URL：https://www.moleculardevices.co.jp/

ヤマハ発動機株式会社 / Yamaha Motor Co., Ltd.



細胞ピッキング&イメージングシステム「CELL HANDLER」

細胞の撮影・解析・選択・移動・配置を高速・高精細に実現するシステムです。

多様なサンプル、プレートに対応

大きさ：10 μm ～ 400 μm 程度のサンプル

培養状態：浮遊細胞、接着細胞、ECMゲル中の細胞

対応プレート：SBS規格マイクロプレート、カルチャーディッシュ、三次元培養プレート、MPSプレート他

キーワード：スフェロイド・オルガノイド・MPS・Organ on a chip・細胞株樹立

住所：438-8501 静岡県磐田市新貝2500

TEL：053-484-1882 / E mail：yeh@yamaha-motor.co.jp / URL：https://www.yamaha-motor.co.jp/hc/

株式会社リガク(MILabs B.V.) / Rigaku Corporation (MILabs B.V.)



(株)リガク傘下のMILabsはオランダに本社を置く実験動物用イメージング装置メーカーです。弊社装置は業界トップクラスの低線量、高精度、ハイスループットを誇り、創薬候補物質の毒性や有効性などを評価する目的で世界中の研究機関や製薬企業に導入いただいております。本展示会では、一台三役の2D/3D光イメージング・ソリューションを中心にご紹介致します。是非お立ち寄りください。

キーワード：In vivo 発光/蛍光/チエレンコフ光イメージング・2D/3D光イメージング・
実験動物用 3DマイクロX線CT・マイクロPET/CT・マイクロSPECT/CT・
非臨床試験(プレクリニカル)・毒性評価(催奇形性、胎児毒性評価等対応)

住所：196-8666 東京都昭島市松原町3-9-12

TEL：042-545-8111 / E mail：milabs@rigaku.co.jp / URL：https://www.milabs.com/

Deciphex



Patholytix, fueled by Deciphex, streamlines Toxicological Pathology and Safety Assessment reviews, enhancing efficiency for Pharma, CRO, and Biotech partners. By optimising processes, we've slashed study turnaround time by 42%. Integrating AI promises even greater productivity gains, less subjectivity, and a faster drug development life cycle. We're pioneering the future of pathology.

キーワード：GLP・Scanning・AI・Preclinical・Research

住所：DCU Alpha, Old Finglas Rd, Glasnevin, Dublin, 9, Ireland
E mail：lydia.otoole@deciphex.com / URL：https://www.deciphex.com/

株式会社FRONTEO / FRONTEO, Inc.

FRONTEOは自社開発の自然言語処理AIエンジン「KIBIT」による新規性の高い創薬標的探索、Drug Repositioningおよびバイオマーカー探索と、それらを裏付ける仮説の生成を行う創薬支援サービスを提供しています。薬剤の安全性評価プロセスでも活用できるAI「KIBIT」を搭載した論文探索AI「KIBIT Amanogawa」、創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」をご紹介します。

キーワード：人工知能・創薬研究支援・標的分子探索・ドラッグ・リポジショニング・安全性評価

住所：108-0075 東京都港区港南2-12-23 明産高浜ビル
TEL：03-5463-6350 / E mail：sales_marketing@fronteo.com / URL：https://lifescience.fronteo.com/

Instem Japan株式会社 / Instem Japan K.K

当社は非臨床領域を中心としたコンピュータソフトウェアの提供およびSEND関連、in-Silico関連、TSAなどの受託サービスを展開しております。また、昨年PDS社買収し、製品・サービスの拡充を図っております。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

キーワード：安全性試験システム・in-Silico・Target Safety Assessment・遺伝毒性システム・SEND

住所：108-6028 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A凍2 8階
TEL：03-6717-6778 / E mail：japaninfo@instem.com / URL：www.instem.com

Lhasa Limited



Lhasa Limited is a pioneer in developing high quality software that delivers scientifically robust and trusted results. With knowledge of toxicology, metabolism and degradation chemistry, and in collaboration with its members, Lhasa draws upon over 35 years of experience to create user-friendly, state-of-the-art in silico prediction and database systems for use in a variety of workflows including regulatory submissions.

キーワード：in silico・Chemical safety・Computational system・Data sharing・Regulatory guidelines

住所：Granary Wharf House, 2 Canal Wharf, Leeds, West Yorkshire, LS11 5PS, United Kingdom
TEL：44 (0)113 394 6020 / E mail：BusinessSupport@lhasalimited.org / URL：https://www.lhasalimited.org/

インフォコム株式会社 / INFOCOM CORPORATION



インフォコムは、毒性安全性研究支援ツールを多数提供しています。以下の製品を中心にご紹介いたします(デモや無料トライアル可能)。

- ・CASE Ultra: ICH M7対応可能なQSAR毒性予測ソフト、変異原性以外の毒性にも対応
- ・QSAR Flex: ニトロソアミン類評価ソフト
- ・META Ultra: 代謝物予測ソフト
- ・ToxPlanet: ウェブベースの毒性情報検索システム

キーワード: 毒性/安全性/代謝物予測・in silico・ICH M7対応・QSAR・ニトロソアミン・CPCA対応・
毒性データ/文献調査

住所: 278-0048 東京都港区赤坂9-7-2 ミッドタウン・イースト10F
TEL: 03-6866-3860 / E mail: info-science@infocom.co.jp / URL: <https://www.infocom-science.jp/>

株式会社エイゾス AIZOTH Inc.



株式会社エイゾスは、研究開発における実験のコストと時間を最小化するため、AI解析プラットフォーム「Multi-Sigma」を提供しております。複数のAI手法を組み合わせることで、必要最小限の実験データからアウトプットを予測可能です。加えて、要因分析や、複数の目的を満たす多目的最適化が実施可能です。ぜひお立ち寄りください。

キーワード: AI解析プラットフォーム・高精度の予測・要因分析(説明できるAI)・多目的最適化・
革新的実験計画法

住所: 305-0031 茨城県つくば市吾妻1-5-7 ダイワロイネットホテルつくばビル2階
TEL: 050-5363-4361 / E mail: info@aizoth.com / URL: <https://aizoth.com/service/multi-sigma/>

エルピクセル株式会社 / LPIXEL Inc.



エルピクセル株式会社はライフサイエンス領域の画像解析技術に強みを持ち、医師の診断を支援するAI画像診断支援技術「EIRL(エイル)」、創薬に特化した画像解析AI「IMACEL(イマセル)」を展開しています。「IMACEL」では安全性研究で活用可能な小核試験自動化サービスを提供しています。その他、病理評価、行動解析、催奇形性試験など幅広く対応可能なためお気軽にご相談ください。

キーワード: 画像解析AI・創薬支援・安全性試験自動化・人工知能・ソフトウェア開発

住所: 100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル6F
TEL: 03-6259-1713 / E mail: contact@lpixel.net

株式会社シーエーシー

本展示会では、試験依頼&化合物管理システムの「RETIP」と動物管理システム「PLACT」を展示しております。ブースではデモを実施させていただきますのでご興味のある方は是非当社のブースにお越しください。

キーワード: 試験依頼管理・化合物管理・実験審査・実験動物の飼育管理

住所: 103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町24-1
TEL: 080-6844-5104 / E mail: endow@cac.co.jp / URL: https://service.cac.co.jp/pharma/r_d

株式会社タクミインフォメーションテクノロジー / Takumi Information Technology Inc.



非臨床統計解析やSENDに関する様々なサービスを提供しております。

- SENDVT：SENDのXPTファイルをJMPファイルへ変換、可視化するツール
- XPT Compare：SENDのXPTファイル変換、作成、QCのサポートツール
- Stat Preclinica：84手法を搭載した非臨床統計解析ツール
- その他：統計コンサルティング、統計教育、JMPアドイン販売等

キーワード：SEND・非臨床統計・SENDVT・XPT Compare・Stat Preclinica

住所：171-0014 東京都豊島区池袋2-40-13 池袋デュプレックスB's 11F
TEL：03-5979-7381 / URL：<https://takumi-it.co.jp>

富士通株式会社 / Fujitsu Limited



当社ブースでは、安全性試験管理システム『tsPharma LabSite』をご紹介します。本システムは、小規模から大規模だけでなく非定型試験にも適用できる柔軟な試験業務機能に加えて、SEND対応などの関連業務を支援する機能を取り揃えております。是非、お気軽にお立ち寄り下さい。

キーワード：安全性試験システム(一般毒性試験/生殖試験/遺伝毒性試験)・

非GLP試験/非定型試験対応・SEND対応・病理室システム・GLP調査対応実績

住所：144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25
TEL：044-777-1111 / E mail：fj-labsite-contact@dlj.jp.fujitsu.com /
URL：<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/life-sciences/>

三井E&Sシステム技研株式会社 / Mitsui E&S Systems Research Inc.

安全性試験を支援するMiTOX(三井安全性試験システム)を主軸に、創薬・薬理試験に対応した簡易試験版、SEND対応、動物実験計画・報告の倫理審査(ワークフロー機能)や業務支援を目的とした周辺システム製品を数多く取り揃えています。また、試験データ利活用による支援サポート相談にも乗れますので、是非お気軽にお立ち寄り下さい。

キーワード：安全性試験・SEND・動物実験管理(倫理審査機能)・業務支援周辺システム・試験データ利活用

住所：261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD9
TEL：043-274-6165 / FAX：043-274-6185 / E mail：info-e@msr.co.jp / URL：<https://www.msr.co.jp>

株式会社モルシス / MOLSIS Inc.



ClaritySuiteは、安全性知識ベースプラットフォームです。安全性薬理試験、非臨床試験、臨床試験、自発報告など、医薬品のライフタイム全体に亘る安全性情報を収載し、オフターゲット情報の取得、シグナル検出、トランスレーショナル・セーフティ、およびファーマコビジランスなど、医薬品安全性の解析に広くご利用頂けます。

キーワード：トランスレーショナル・セーフティ・橋渡し研究・シグナル検出・自発報告・ファーマコビジランス

住所：104-0032 東京都中央区八丁堀3-19-9 ジオ八丁堀
TEL：03-3553-8030 / E mail：sales@molsis.co.jp / URL：<https://www.molsis.co.jp/>

株式会社ワールドフュージョン / WorldFusion Co.,LTD.

株式会社ワールドフュージョンは、創業統合データベースやソフトウェア開発に加えて肌、口腔内の菌叢解析サービスを行っております、本展示会では、薬剤の自発有害事象報告を取りまとめたClarity Suite、新しい文献検索サービスPubMedifyをご紹介します。。

キーワード：安全性知識データベース・文献検索システム・創業統合データベースシステム・肌菌叢解析・口腔内菌叢解析

住所：103-0014 中央区日本橋蛸殻町1-38-12 油商会館ビル2F
TEL：03-3662-0521／E mail：oshirase@w-fusion.co.jp／URL：https://www.w-fusion.co.jp

インビボサイエンス株式会社 / In-Vivo Science Inc.

創薬や医学研究に欠かせない高度なヒト疾患モデルの供給やそれらを用いたサービスを提供する会社です。実験動物の品質規格やヒト疾患動物モデルの開発で世界をリードする(公財)実中研のライセンス・サービス、先進独自の動物試験サービス、モデル動物の遺伝子検査サービスを提供いたします。

キーワード: ヒト幹細胞・PBMC移植ヒト化マウス・ヒト肝臓移植マウス・インビボ造腫瘍性試験・インビボ免疫毒性試験・インビボイメージング受託サービス

住所: 210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-12 (公財)実中研
TEL: 044-201-8518 / FAX: 044-201-8519 / E mail: sales@invivoscience.com / URL: <https://www.invivoscience.com/>

柴田科学株式会社 / SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.



たばこ煙発生装置、各種吸入実験装置など、長年にわたる環境試験装置の設計・製作技術に基づいた製品を展示する予定です。ぜひ弊社ブースへ足をお運びください。

キーワード: たばこ煙発生装置・吸入実験装置・鼻部ばく露装置・環境試験装置

住所: 340-0005 埼玉県草加市中根1-1-62
TEL: 048-933-1577 / URL: <https://www.sibata.co.jp/>

日本エスエルシー株式会社 / JAPAN SLC, INC.

日本エスエルシー株式会社は、皆様のご支援のもと2024年に創立75周年を迎えました。今後も各種実験動物の生産供給に加え、実験動物プロバイダーという特色を生かした受託試験業務を承っております。本展示ブースでは、弊社の多彩な業務メニューに加え、AI病理評価システムのリーディングカンパニーであるAIRA MATRIXを紹介します。

キーワード: 実験動物・飼料・外科的処置病態モデル動物作製・免疫原性試験・SPF化

住所: 431-1103 静岡県浜松市中央区湖東町3371番地の8
TEL: 053-486-3178 / FAX: 053-486-3156 / URL: <http://www.jslc.co.jp/>

日本クレア株式会社 / CLEA Japan, Inc.



新しい「発見」を変えない「品質」で日本クレアは「健康で明るい社会作り」を目指し、動物福祉の精神に則って、医学・生物学・創薬研究に適応する各種実験動物の生産・供給を基盤とし、実験動物用飼料・器材・施設備品などの関連商品についても総合的に取り扱っております。本学会では短期発がん性試験モデルであるrasH2マウス、小型霊長類のコモンマーモセットを中心に紹介致します。

キーワード: 実験動物・マウス ラット・コモンマーモセット・rasH2・受託試験

住所: 153-8533 東京都目黒区東山1-2-7
TEL: 03-5704-7050 / FAX: 03-3792-2032 / URL: <https://www.clea-japan.com/>

高品質な実験動物やエンリッチメントのグローバルプロバイダーです(本社:米国)。ビーグル、フェレット、APD/SPFネコ、A129/AG129マウス、重度免疫不全マウス/ラット、ハッピーマット(麻原料のエンリッチメント)、SPF鶏卵等を通じ、研究や製造にて貢献しております。

キーワード：マーシャルビーグル・フェレット・ハッピーマット・重度免疫不全マウス/ラット・APD/SPFネコ

住所：305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6つくば研究支援センター C-A-5
TEL：029-(875)-5870 / E mail：infojp@marshallbio.com / URL：https://www.marshallbiojp.com/

株式会社薬事日報社

弊社は薬業総合専門紙「薬事日報」の発行をはじめ、出版事業、電子メディア事業を通じ、医薬品関連業界において求められる最新の情報を、より早く、より確実にお届けしています。多彩な視点による新しい紙面企画、出版企画等も随時受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

キーワード：医薬品非臨床試験・医薬品開発・薬事法規・制度・出版企画・ICH

住所：101-8648 東京都千代田区神田和泉町1
TEL：03-3862-2141 ／ URL： <https://www.yakuji.co.jp/>

株式会社J&Pアセットマネジメント

j & pアセットマネジメントはドクターをはじめ医療従事者の方々に、投資用不動産を中心とした税金対策や資産形成のご提案をさせていただいております。ぜひ一度、この機会にブースに足をお運びいただけますと幸いです。

キーワード：不動産・税金対策・資産形成

住所：550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1丁目2-19アステリオ北堀江THEMETROTOWER10F
TEL：06-6110-7100 / FAX：06-6110-7101 / URL：https://jp-am.co.jp/

PLUSBIO INC.



PLUSBIO offers high-quality products for supporting biomedical research, a distributor of research-use CSA health monitoring kits for non-human primates. Not only do we supply kits, but we also supply monkeys worldwide. Colony Surveillance Assays (CSA) are an easy and affordable solution to your specific-pathogen free colony screening needs. Our easy-to-use kits screen for antibodies in serum from exposure to pathogens of interest. Our CSA: Simian Panels are conveniently grouped for standard SPF screening and expanded SPF colonies. Use our modern, efficient, and cost-effective kits to streamline your colony screening needs. Each kit contains materials to screen up to 94 samples.

キーワード：NHP Diagnostics・NHP Health Monitoring・NHP Virus・NHP・Cynomolgus Monkey

住所：501, 5TH FLOOR, DONGTAN-K VALLEY, DONGTAN-CHEOMDANSANEOP 1-RO 14, HWASEONG-SI, GYEONGGI-DO, 18469, REPUBLIC OF KOREA
TEL：+82-10-7511-6914 / E mail：taetae@plusbio.co.kr / URL：http://plusbio.co.kr

株式会社エトスコポーレーション / ETHOS CORPORATION.Co.Ltd



投資用不動産

キーワード：投資型マンション販売事業・不動産仲介事業・賃貸管理事業・リフォーム事業・生命保険代理業

住所：532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-1-1新大阪プライムタワー 12F
TEL：06-6308-8000 / FAX：06-6308-8002 / E mail：info@ethos-corp.co.jp / URL：https://ethos-corp.co.jp/

エルゼビア・ジャパン株式会社 / Elsevier Japan K. K.



エルゼビアは、研究開発を支援するためのデータベース提供に加え、お客様のニーズに合わせた様々なサービスを提供しています。

今回のランチョンセミナーでは、AIによる高度な分析方法をPharmaPendiumに収録の非構造化、構造化した安全性データに応用した事例をご紹介し、自然言語処理、検索拡張生成技術を用いて、非構造化データである承認審査文書から安全性関連の情報を分析、安全性モニタリングとコンプライアンスの向上に活かせるか検討します。

是非ご参加ください。

ランチョンセミナー：7月4日(木) 第6会場

企業展示ブースNo. 47

お問合せ：jp.corporate@elsevier.com

キーワード：AI, 予測モデル, 構造化, 有害事象, 安全性, 臨床データ, 市販後データ

住所：106-0044 港区東麻布1-9-15 東麻布一丁目ビル4F

TEL：03-5561-5386 / E mail：jp.corporate@elsevier.com / URL：https://www.elsevier.com/ja-jp

王子ホールディングス株式会社 / Oji Holdings Corporation



細胞は生体内の微小環境を認識し、それを接着の足場形成や増殖のきっかけとして利用しています。王子ホールディングスのCellArray-Heart™は、培養基材の底面にナノサイズで微細加工を施しており、細胞を播種するだけで配向培養が可能です。詳細は展示ブースで説明させていただきます。

キーワード：播くだけで細胞が配向・細胞の成熟化・心筋細胞・薬剤応答・微細構造

住所：135-8556 東京都江東区東雲1-10-6

TEL：03(3533)7616 / FAX：03(3533)7157 / E mail：ohd-cellarray@oji-gr.com / URL：https://cellarray.jp/

公益財団法人 実中研 / Central Institute for Experimental Medical and Life Science



公益財団法人 実中研は、医療・医学への貢献を目的に1952年に設立され、国内外の大学、研究機関、民間企業、行政機関と連携し研究活動を行っています。最先端を行く実験動物の開発と、それを支える遺伝子改変、発生工学、無菌動物、モニタリング検査、イメージング、病理解析などの各種技術は高い信頼を得ています。

キーワード：遺伝子改変動物・ヒト化NOGマウス(免疫系、肝臓)・rash2マウス・CIEA-PDX・
バイオイメーキング(MRI, CT, IVIS)

住所：210-1821 神奈川県川崎市殿町3-25-12

TEL：044-201-8510 / URL：https://www.ciea.or.jp/

サターラ合同会社 / Certara G.K.

サターラはモデリング&シミュレーション用ソフトウェアとサービスを通して新薬の上市スピードアップを支援しています。毒性学会では安全性評価用ソフトウェアやサービス、SENDデータ解析ソフトウェア、PBPK解析用Simcypをブースにてご案内いたします。

キーワード：モデルを活かした医薬品開発(MIDD)・モデリング&シミュレーション・安全性評価・臨床薬理・SENDデータ解析

住所：105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館9階

TEL：03-6432-4890 / E mail：japan.sales@certara.com / URL：https://jp.certara.com/

東京応化工業株式会社 / TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

上下膜フロー構造を持つMPSチップのご紹介
特徴

- ①非PDMS素材による薬剤の低収着性を実現
 - ②Additive Manufacturingによるレイアウトの自由度を実現
 - ③低細胞毒性、良好な観察性を実現
- チップと送液システムを提供いたします。

キーワード：MPS・Fluid3D-X

住所：253-0114 神奈川県高座郡寒川町田端1590

TEL：0467-75-2151 / E mail：tok_bd@tok.co.jp

東ソー株式会社 / TOSOH CORPORATION



東ソーが創薬・再生医療での貢献を目指して開発した「2.5次元培養器材®(開発品)」は、細胞塊を接着状態で形成させるため、2次元培養同等の操作性で、3次元培養のような均一サイズの細胞塊を大量作製可能です。本展示では2.5次元培養器材®を用いたiPS細胞や肝細胞のユニークな培養例をご紹介します。

キーワード：細胞培養プレート・スフェロイド・分化誘導(神経、心筋、肺)・肝細胞・薬理試験

住所：510-8540 三重県四日市市霞1-8

TEL：059-364-5798 / FAX：059-364-5546 / E mail：tosoh@tosoh.co.jp / URL：https://www.tosoh.co.jp/

内閣府食品安全委員会 / Food Safety Commission of Japan



日本毒性学会の先生方にもご活躍いただけます！

食品安全委員会は、食品の安全を確保するため、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等を行うリスク管理機関(厚生労働省、農林水産省、環境省、消費者庁)から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関です。

キーワード：食品安全・Food Safety・リスク評価・食品健康影響評価技術研究・リスクコミュニケーション

住所：107-6122 東京都港区赤坂5-2-20 22F

TEL：03-6234-1166 / E mail：fscj@cao.go.jp / URL：https://www.fsc.go.jp/

株式会社ハンドレッドメディカル / Hundred Medical co.,Ltd



弊社は2023年9月に創立した会社です。

動物福祉の原則である3Rの観点から実験動物の命を大切にすることを考え、世界にないニッチな製品開発・販売に取り組んでいます。

去年は、国内を初め米国、ドイツにも販売を開始し高い評価をいただいております。

是非、お気軽に出展ブースへお立ちください。

キーワード：動物福祉・試験精度向上・労働安全衛生・代替

住所：963-0201 福島県郡山市大槻町字西宮前4-12

TEL：024-954-5199 / FAX：024-954-5199 / E mail：info@hundred-inc.co.jp / URL：www.hundred-inc.co.jp

株式会社フェニックスバイオ / PhoenixBio Co., Ltd.



当社はヒトの肝臓をもつキメラマウス「PXBマウス」を実験動物として生産しております。また、PXBマウスから採取した新鮮ヒト肝細胞「PXB-cells」をはじめ、肝細胞向けのコンディショニング培地「PXB-Shizuku」を販売しています。当社ブースにて各製品および実施例をご紹介します。

キーワード：ヒト肝細胞キメラマウス・新鮮ヒト肝細胞・ヒト肝毒性予測・ミトコンドリア毒性・肝毒性バイオマーカー

住所：739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目4-1

TEL：082-431-0016 / E mail：sales@phoenixbio.co.jp / URL：https://phoenixbio.co.jp/

株式会社ルイスイノベーション / LOUIS INNOVATION



経験豊富な不動産投資コンサルティングスタッフが、ご所有不動産の売却タイミング、ご購入に関するご相談(不動産取引に関する法律、銀行融資、税金、節税対策等)をお受けし、売買契約、物件引渡まで完全なサポートを行います。ブースにて、個々のご希望内容に沿ったシュミレーションもさせていただきます。出展ブースにて是非お待ち申し上げます。

キーワード：不動産・資産運用・投資・生命保険・税金対策

住所：530-0015 大阪府大阪市北区中崎西4-3-32 タカ大阪梅田ビル12F

TEL：06-4256-8851 / FAX：06-4256-8852 / E-mail：info@louis-innovation.com / URL：https://www.louis-innovation.com/

一般社団法人日本毒性学会(JSOT)

住所：〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 バレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム
TEL：03-6267-4550 / FAX：03-6267-4555 / E-mail：jsotq@jsot.jp / URL：https://www.jsot.jp/